

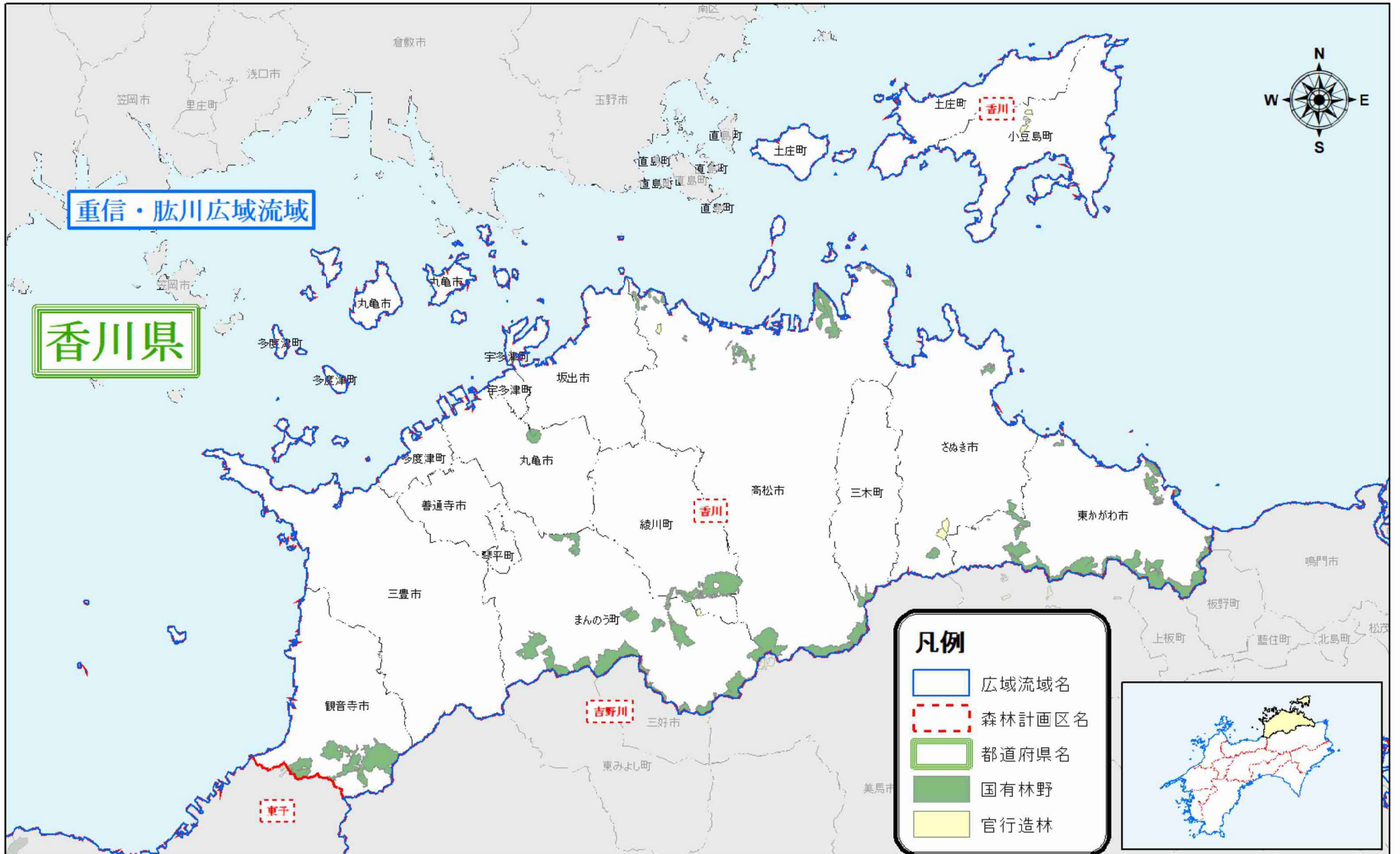
# 香川国有林の地域別の森林計画書

(香川森林計画区)

計画期間 自 令和3年 4月 1日  
至 令和13年 3月 31日

四 国 森 林 管 理 局

# 香川森林計画区的位置図



## 目 次

I 計画の大綱	1
1 森林計画区の概況	1
2 前計画の実行結果の概要及びその評価	1
3 計画樹立に当たっての基本的な考え方	2
(1) 森林整備及び保全の基本的な考え方	2
(2) 林道等及び治山施設の整備	3
(3) 流域管理システムの推進	3
II 計画事項	4
第1 計画の対象とする森林の区域	4
第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項	4
1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項	4
(1) 森林の整備及び保全の目標	4
(2) 森林の整備及び保全の基本方針	5
(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	7
2 その他必要な事項	8
第3 森林の整備に関する事項	8
1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）	8
(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法	8
(2) 立木の標準伐期齢	10
(3) その他必要な事項	10
2 造林に関する事項	10
(1) 人工造林に関する事項	10
(2) 天然更新に関する事項	12
(3) その他必要な事項	12
3 間伐及び保育に関する事項	12
(1) 間伐の標準的な方法	12
(2) 保育の標準的な方法	13
(3) その他必要な事項	13
4 公益的機能別施業森林の整備に関する事項	13
(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法	13
(2) その他必要な事項	15
5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項	15
(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	15
(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方	16

(3) 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法	16
(4) その他必要な事項	16
6 森林施業の合理化に関する事項	16
(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針	16
(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	16
(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針	17
(4) その他必要な事項	17
第4 森林の保全に関する事項	17
1 森林の土地の保全に関する事項	17
(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項	17
(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	18
(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法	18
(4) その他必要な事項	18
2 保安施設に関する事項	18
(1) 保安林の整備に関する事項	18
(2) 保安施設地区に関する事項	19
(3) 治山事業に関する事項	19
(4) その他必要な事項	19
3 鳥獣害の防止に関する事項	19
(1) 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法	19
(2) その他必要な事項	20
4 森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項	20
(1) 森林病虫害等の被害対策の方針	20
(2) 鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）	20
(3) 林野火災の予防の方針	20
(4) その他必要な事項	20
第5 計画量等	22
1 伐採立木材積	22
2 間伐面積	22
3 人工造林及び天然更新別の造林面積	22
4 林道の開設及び拡張に関する計画	23
5 保安林整備及び治山事業に関する計画	25
(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等	25
(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等	25
(3) 実施すべき治山事業の数量	26
第6 その他必要な事項	27
1 保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法	27

2	その他必要な事項	29
別表 1	公益的機能別施業森林の区域及び施業方法	30
別表 2	鳥獣害防止森林区域	33

## I 計画の大綱

国有林の地域別の森林計画は、森林法第7条の2に基づき、森林管理局長が国有林について民有林の地域森林計画に準じて立てる森林計画である。

本森林計画は、香川森林計画区に位置する国有林の計画を、「全国森林計画」に即して、令和3年4月から令和13年3月の10カ年を計画期間として樹立したものである。

### 1 森林計画区の概況

本計画区は、全国森林計画の重信・肱川広域流域に属し、南は徳島県の吉野川森林計画区に接しており、香川県全域を包括している。区域面積は187,678haで、そのうち森林面積は約47%の87,762haを占めている。

人口は、976,263人（平成27年国勢調査）で、平成22年調査時点と比較すると19,579人減少している。

本計画区の国有林の森林面積は7,717haで、区域森林面積の9%を占めており、主に南部の讃岐山脈、前山山系にまとまった団地が分布する他、笠ヶ峰、兼割、滝山、東飯山（讃岐富士）等の小団地が分布している。

林種別面積は、人工林が4,989ha、天然林が2,434ha、伐採跡地等の無立木地が294haとなっている。

また、人工林面積を樹種別にみると、スギ5%、ヒノキ58%、マツ類15%、その他22%とヒノキが過半数を占めており、齢級配置は、間伐・主伐の対象である7齢級以上が全体の9割を占めている。

国有林の大部分を保安林に指定するとともに、瀬戸内海国立公園に指定されている屋島を始め、景観に優れた森林については、風景林等レクリエーションの森に設定するなど、国土保全、水源の涵養、自然環境の維持及び形成、国民の保健及び休養の場の提供等、公益的機能の発揮にも努めている。

### 2 前計画の実行結果の概要及びその評価

伐採立木材積については、一部採算が見込めない立木販売や間伐の実施を見合わせたことなどから、主伐・間伐ともに計画量を下回る結果となった。

造林面積については、主伐の実行減に伴い期間内に植栽を行う箇所が少なかったことから、計画量を下回る結果となった。

林道等の開設又は拡張については、伐採や造林等の事業実施を踏まえ、優先度の高い路線から取り組み、拡張については、概ね計画通り実行した。

治山事業については、緊急度の高い箇所から実行した。

項目	計 画	実 行	実行歩合 (%)
伐採立木材積	150,900m <sup>3</sup>	54,988m <sup>3</sup>	36
主伐	58,500m <sup>3</sup>	30,573m <sup>3</sup>	53
間伐（材積）	92,400m <sup>3</sup>	24,415m <sup>3</sup>	26
間伐（面積）	1,450ha	229ha	16
造林面積	270ha	31ha	12
人工造林	156ha	25ha	16
天然更新	114ha	6ha	6
林道等の開設又は拡張	開設： 1.6km 拡張： 20箇所	開設： 0.9km 拡張： 17箇所	56 85
林道	開設： — km 拡張： 20箇所	開設： — km 拡張： 17箇所	— 85
林業専用道	開設： 1.6km 拡張： —箇所	開設： 0.9km 拡張： —箇所	56 —
その他	開設： — km 拡張： —箇所	開設： — km 拡張： —箇所	— —
保安林の指定・解除	指定 — ha 解除 — ha	指定 — ha 解除 — ha	— 0
水源かん養	指定 — ha 解除 — ha	指定 — ha 解除 — ha	— 0
災害防備	指定 — ha 解除 — ha	指定 — ha 解除 — ha	— 0
保健、風致の保存等	指定 — ha 解除 — ha	指定 — ha 解除 — ha	— 0
治山事業	21箇所	6箇所	29

(注) 1 計画欄は前半5ヶ年に相当する数値である。

2 実行欄は、平成28～令和元年度の実績と令和2年10月末の実績の計である。

### 3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

森林の有する多面的な機能の高度発揮に対する社会的要請に応えるため、重視すべき機能に応じた適切な森林の整備及び保全に努めるとともに、民有林関係者等と連携して推進する森林の流域管理システムの下、次の事項を推進することとする。

#### (1) 森林の整備及び保全の基本的な考え方

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高

度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化や急速な少子高齢化と人口減少、資源の循環利用を通じた花粉発生源対策の推進の必要性も考慮しつつ、重視すべき機能に応じた適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進するとともに、その状況を的確に把握するための森林資源モニタリングの適切な実施や、リモートセンシング及び森林GIS\*の効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養、山地災害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の実施、林道等の路網の整備、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病虫害や野生鳥獣害の被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。

## (2) 林道等及び治山施設の整備

ア 適切な森林施業を実施するための基盤である林道等については、計画的かつ効率的な整備を図ることとして、林道等開設量、拡張量を計画量として定める。

イ 地域の安全・安心の確保、水源の涵養及び生活環境の保全を図るため、治山施設の着実な整備に努めることとして、治山事業量を計画量として定める。

## (3) 流域管理システムの推進

民有林関係者等と連携して推進する森林の流域管理システムの下、森林の有する多面的機能の発揮を基本としつつ、流域林業活性化協議会等を通じ、県、市町等との密接な連携を図りながら、流域林業の活性化に積極的に取り組むこととする。

具体的な取組としては、

ア 林業・木材業界、民有林・国有林が連携して、需給バランスを考慮した計画的持続的な林産物の供給、森林の総合的な利用の促進、森林施業の共同化等地域関連産業の振興及び社会の発展に努める。

イ 林道等の計画に当たっては、民有林林道等との調整を図り、合理的な路線配置等を計画するとともに、流域をネットワーク化する生活道路としての機能の発揮に留意する。

また、作業道等を作設し、林道等と有機的に組み合わせることによって、林業コストの低減に努める。

ウ 請負事業等の計画的発注を通じ、就労条件の改善への配慮、指導等により

---

\*1 森林GIS：GISとはGeographic Information System（地理情報システム）の略。地図や空中写真等の森林の位置や形状に関する図面情報と、林種や林齢等の文字・数値情報を、コンピューター上で総合的に管理、分析、処理するシステム。



事業体の体質強化に努める。

エ 森林施業技術や林業の機械化等について、民有林との連携・交流を図る。

オ 公告縦覧制度を適切に実施するとともに、伐採予定等に関する情報の提供・充実に努める。

## II 計画事項

### 第1 計画の対象とする森林の区域

市町別面積		単位 面積：ha	
区 分	面 積	管轄森林管理署等	
総 数	7,716.75 (208.38)		
市 町 別 内 訳	高松市	1,438.51 (44.78)	香川森林管理事務所
	丸亀市	77.90	〃
	坂出市	24.14	〃
	観音寺市	1,186.36	〃
	さぬき市	235.01 (85.20)	〃
	東かがわ市	1,900.10 (4.40)	〃
	小豆島町	58.15 (58.15)	〃
	三木町	105.98	〃
	綾川町	628.69 (15.85)	〃
	まんのう町	2,061.91	〃

(注) 1 国有林の地域別の森林計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の国有林とする。

2 森林計画図の縦覧場所は、四国森林管理局計画課及び香川森林管理事務所とする。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

### 第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

#### 1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

##### (1) 森林の整備及び保全の目標

森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の目標を次のとおり定める。

##### ア 水源涵養機能

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林

##### イ 山地災害防止機能／土壌保全機能

下層植生が生育するための空間が確保され適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林

##### ウ 快適環境形成機能

樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林

エ 保健・レクリエーション機能

身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林

オ 文化機能

史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林

カ 生物多様性保全機能

原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針を次のとおり定める。

ア 水源涵養機能

ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林並びに地域の用水源として重要なため池、湧水地及び溪流等の周辺に存する森林は、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。

具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図ることとする。また、立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。

ダム等の利水施設上流部において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の適切な保全管理等を推進することを基本とする。

イ 山地災害防止機能／土壌保全機能

山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼす恐れがある森林など、土砂の流出、土砂の崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林は、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。

具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進することとする。また、立地条件や国民等のニーズに応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。

集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の適切な保全管理等を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。

#### ウ 快適環境形成機能

国民の日常生活に密接なかかわりを持つ里山等であって、騒音や粉じん等の影響を緩和する効果が高い森林は、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。

具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。

快適な環境の保全のための保安林の適切な保全管理等や、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。

#### エ 保健・レクリエーション機能

観光的に魅力ある高原、溪谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保健・教育的利用等に適した森林は、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。

具体的には、国民に憩いと学びの場を提供する観点から、立地条件や国民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。

また、保健等のための保安林の適切な保全管理等を推進することとする。

#### オ 文化機能

史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。

具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。

また、風致のための保安林の適切な保全管理等を推進することとする。

#### カ 生物多様性保全機能

すべての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方にに基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランスよく配置されていることを目指すこととする。

とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することとする。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮

した適切な保全を推進することとする。

キ 木材等生産機能

樹木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林は、木材生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。

具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とし、その際、機械化等を通じた効率的な整備を推進する。

なお、森林の有する多面的機能については、地形条件、気象条件及び森林の種類などにより発揮される効果は異なり、また、洪水緩和機能や水資源貯留機能等については、期待されるときに必ずしも常に効果が発揮されるものではないこと、及び、これらの機能以外に森林の有する多面的機能として地球環境保全機能があるが、これについては二酸化炭素の固定、蒸発散作用等の森林の働きが保たれることによって発揮される属地性のない機能であることに留意する必要がある。

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

		単位 面積：ha 蓄積：m <sup>3</sup> /ha	
区 分		現 況	計画期末
面 積	育成単層林	4,966	4,700
	育成複層林	372	440
	天然生林	2,138	2,138
森林蓄積		188	215

(注) 1 育成単層林、育成複層林及び天然生林において実施される施業の内容については、以下のとおり。

- (1) 育成単層林においては、森林を構成する林木の一定のまとまりを一度に全部伐採し、人為<sup>\*2</sup>により単一の樹冠層を構成する森林として成立させ維持する施業（育成単層林施業）。
- (2) 育成複層林においては、森林を構成する林木を択伐<sup>\*3</sup>等により部分的に伐採し、人為により複数の樹冠層<sup>\*4</sup>を構成する森林（施業の関係上一時的に単層林となる森林を含む）として成立させ維持する施業（育成複層林施業）。
- (3) 天然生林においては、主として天然力を活用することにより成立させ維持する施業（天然生林施業）。この施業には、国土の保全、自然環境の保全、種の保存等

\*2 人為：植栽、更新補助（天然下種更新のための地表かきおこし、刈払等）、芽かき、下刈、除伐、間伐等の保育等の作業を総称したもの。

\*3 択伐：「択伐」とは、森林内の成熟木を数年から数十年ごとに計画的に繰り返し伐採（抜き伐り）すること。

\*4 複数の樹冠層：樹齢や樹種の違いから林木の高さが異なることにより生じるもの。

のための禁伐等を含む。

- 2 現況に対する計画期末の育成単層林の面積の減は、官行造林地の返地などによるものである。

## 2 その他必要な事項 特になし

### 第3 森林の整備に関する事項

#### 1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

##### (1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

森林施業を実施するに当たっては、第2の1に定める森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項によるほか、次に掲げる基準によることとする。

##### ア 育成単層林施業

育成単層林施業の実施に当たっては、気候、地形、土壌等の自然条件、車道や集落からの距離等の社会的条件、林業技術体系等からみて、人工造林又はぼう芽更新により高い林地生産力が期待される森林及び森林の有する公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当な森林について、以下の事項に留意して実施することとする。

- (ア) 主伐に当たっては、自然条件及び公益的機能の確保についての必要性を踏まえ、1箇所当たりの伐採面積の規模、伐採箇所の分散に配慮することとする。

また、林地の保全、雪崩、落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止及び風致の維持等のため必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとする。

- (イ) 主伐の時期については、多様な木材需要に対応できるよう、地域の森林構成等を踏まえ、公益的機能の発揮との調和に配慮し、木材等資源の効率的な利用を考慮して多様化、長期化を図ることとし、多様な木材需要に対応した林齢で伐採することとする。

##### イ 育成複層林施業

育成複層林施業の実施に当たっては、気候、地形、土壌等の自然条件、社会的条件、林業技術体系等からみて、人為と天然力の適切な組み合わせにより複数の樹冠層を構成する森林として成立し、森林の諸機能の維持増進が図られる森林について、以下の事項に留意して実施することとする。

- (ア) 主伐に当たっては、複層状態の森林に確実に誘導する観点から、自然条件を踏まえ、森林を構成している樹種、林分構造等を勘案して行うこととする。

- (イ) 択伐による場合は、森林の諸機能の維持増進が図られるような適正な林分構造に誘導するよう適切な伐採率、繰り返し期間によることとする。

(ウ) 天然更新を前提とする場合には、種子の結実状況、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、配置等に配慮することとする。

ウ 天然生林施業

天然生林施業の実施に当たっては、気候、地形、土壌等の自然条件、社会的条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新及び森林の諸機能の維持増進が図られる森林について、以下の事項に留意の上実施することとする。

(ア) 主伐については、イの(ア)によることとする。

(イ) 国土の保全、自然環境の保全、種の保存等のために禁伐その他の施業を行う必要のある森林については、その目的に応じた適切な施業を行うこととする。

エ 保安林等

保安林及び保安施設地区内の森林並びに森林法施行規則（昭和26年農林省令第54号）第10条に規定されている森林については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うとともに、森林の諸機能の維持増進が図られる施業方法によることとする。

オ 主伐の時期

皆伐を行う人工林の主伐の時期は、次のとおりとする。

単位 径級：cm、主伐時期：年

地区	樹種	単層林施業			主伐の時期
		生産目標	仕立方法	期待径級	
全域	スギ	一般材	中仕立	22	45
	ヒノキ	一般材	〃	22	50

単位 径級：cm、主伐時期：年

地区	樹種	複層林施業			主伐の時期
		生産目標	仕立方法	期待径級	
全域	スギ	中径材	中仕立	30	80
	ヒノキ	中径材	〃	30	80

(注) 期待径級は、胸高直径とした。

カ 伐採に関する留意事項

(ア) 皆伐を行う森林

a 人工造林を行う森林

1箇所当たりの伐採面積は、制限林のうち保安林及び自然公園第3種特別地域にあっては、おおむね5ha以下（ただし、1伐採箇所の面積の限度が5ha以下で指定されている保安林等にあっては、その制限の範囲内）とし、その他の制限林にあっては、その制限の範囲内とする。

制限林以外にあっては、水源涵養機能、山地災害防止機能／土壌保全

機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能を有する森林にあつては同様とする。

契約に基づく分収林及び官行造林においては、おおむね20ha以下とし、立地条件、公益的機能の要請等を総合的に勘案して定めることとする。

伐採箇所は努めて分散させるとともに、新生林分の保護、公益的機能の確保のため、尾根、斜面中腹等を主体として、必要な箇所に保護樹帯を設置することとし、保護樹帯の効果を適切に発揮させるため、多様な樹種からなるように努める。

なお、新植を予定する林分に、利用径級に達しない有用樹種であつて、形質の優れているものが生育している場合は、努めて保残することとする。

更新をしても期待する成長を達成することが困難な箇所、風衝地、岩石地、急傾斜地等については、保残することとする。

#### b 天然更新を行う森林

伐採跡地において天然更新を行う森林は、有用天然木を主とする森林であつて、天然下種による更新が確実な林分とする。

伐区の面積はaに準ずるが、特に確実な更新を確保するため、伐採区域の形状、母樹の保残等について配慮する。また、将来旺盛な成長が期待できる中小径木については、努めて保残し育成する。

伐採を行うに当たっては、天然稚樹の発生状況、種子の結実状況等を勘案し適正な時期を選定する。

#### (イ) 択伐を行う森林

伐採に当たっては、目的に応じた適正な林相、林齢からなる林型に誘導することを目標とし、伐採率は40%を上限とする。

### (2) 立木の標準伐期齢

樹種ごとに平均成長量が最大となる林齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採齢、森林の構成を勘案して、本計画においては次のように定める。

地 区	標 準 伐 期 齢					
	ス ギ	ヒノキ	マ ツ	その他針	クヌギ	その他広
計画区全域	35年	40年	30年	40年	10年	15年

### (3) その他必要な事項

特になし

## 2 造林に関する事項

### (1) 人工造林に関する事項

人工造林は、公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行う。

#### ア 人工造林の対象樹種

人工造林における造林すべき樹種は、土壌、地形等の自然条件を把握した上で、適地適木を原則とし、郷土樹種や広葉樹も考慮に入れて、既往の造林実績及び林産物の需要動向を勘案して最も適合した樹種を選定することとし、スギ、ヒノキ及びクヌギ等を主体とする。

#### イ 人工造林の標準的な方法

人工造林は、森林の適確な更新を図ることを旨として、自然条件、既往の造林方法等を勘案して、以下により行う。その際、コンテナ苗を使った造林など新たな植栽技術の活用や、伐採と造林の一貫作業システムの導入に積極的に取り組む。また、更新に当たっては、花粉の少ない森林への転換を図るため、花粉症対策に資する苗木の植栽、針広混交林への誘導等に努める。

#### (ア) 人工造林の植栽本数

- a 育成単層林のヘクタール当たりの植栽本数は、既往の施業体系を勘案して次を目安とし、林地生産力の高低等自然条件、導入する苗木の規格や特性、天然稚幼樹木の発生状況、有用天然木の配置状況、ニホンジカの影響等を総合的に勘案して決定する。その際、森林の適確な更新を図ることを前提に、低コスト化・省力化の観点から、可能な限り、低密度な植栽に取り組むこととする。

ただし、保安林等法令により規制されている林分については、当該法令の規制による。

単位：本

樹種	植栽本数
スギ	1,200～3,000
ヒノキ	1,200～3,000
クヌギ	2,500～3,500

- b 育成複層林のヘクタール当たりの植栽本数は、1,200～3,000を目安として、上木の状況等現地の実態により調整する。

ただし、保安林等法令により規制されている林分については、当該法令の規制による。

#### (イ) その他人工造林の標準的な方法

地ごしらえは、気候その他自然条件等を勘案して、全刈り地ごしらえ、筋刈り地ごしらえ、枝条存置地ごしらえ等を適切に行うこととする。

植栽方法は、原則として方形植えにより、2月～4月の間に行うこととする。なお、伐採と造林の一貫作業システム等におけるコンテナ苗を使った造林など新たな植栽技術による場合は、この限りではない。

#### ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間



公益的機能の維持や早期回復を図るため、人工造林によるものについては、原則として2年以内とする。

## (2) 天然更新に関する事項

天然更新は、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新を図ることができる森林において行う。

### ア 天然更新の対象樹種

天然更新の対象とする主な樹種は、既往の天然有用樹種を勘案し、スギ、ヒノキ、アカマツ、ケヤキ、ミズメ、シイ、カシ等とするが、適地適木を旨として、自然条件、周辺環境等を勘案して選定する。

### イ 天然更新の標準的な方法

天然更新は、森林の適確な更新を図ることを旨として、下層植生、前生樹等を勘案しつつ、以下により行う。

#### (ア) スギ、ケヤキ等

スギ、ヒノキ、ケヤキ、ミズメ等の天然木については、伐採に当たって、天然更新による成林が確実となるよう、母樹及び中小径木を適切に保残するとともに、稚樹の発生、生育を促す地表処理、刈出し等の天然更新補助作業を行うこととする。

また、稚樹が少ない場合には、植込み、播種等により更新を図ることとする。

#### (イ) アカマツ

アカマツは原則として天然更新によることとし、アカマツの生態的適地でかつアカマツが現存し、植生状態等の立地条件から天然更新による成林が可能な箇所を選定し、伐採後、地表処理、刈出し等の天然更新補助作業を行うこととする。

#### (ウ) シイ、カシ等

シイ、カシ、コナラ等ぼう芽力の旺盛な広葉樹については、除伐等の天然更新補助作業を行うこととする。

#### (エ) 天然更新の確認調査

更新状況の確認調査は、搬出完了から3年以内に行うこととし、更新完了の目安（「天然林施業における更新完了の取扱い等について」（昭和61年5月7日付け61-49））に達しない林分については、更に3年以内に再調査を行い、2回目の確認調査においても更新完了に至らない林分については、植栽等により確実な更新を図ることとする。

## (3) その他必要な事項

多様な森林を造成するため、人工造林を計画した箇所においても、天然更新を積極的に指向することとする。

## 3 間伐及び保育に関する事項

### (1) 間伐の標準的な方法

人工造林を実施した森林においては以下を基本とし、発揮すべき機能や林分状況等に応じて適切に実施することとする。その際、生産性の向上等の観点から、列状間伐を積極的に採用する。

樹種	生産目標	間伐の時期（年）		間伐の方法
		初回	2回目	
スギ	一般材 主伐の時期 45年	25 (30)	35 (40)	間伐の方法は点状間伐又は列状間伐とする。 なお、林分の状況により成木摘伐を実施する。
ヒノキ	一般材 主伐の時期 50年	30	40	1回に実施する間伐率は、 $Ry^{*5}$ を0.10～0.25下げることを目安に本数間伐率50%程度までの範囲で選木を行う。 ただし、制限林にあつては指定された施業要件の範囲内とする。

(注) スギの一般材を生産の目標とする林分において、ヒノキが混在し、かつ、林分状況等により必要と考えられる場合は、( )の時期を目安として間伐を行うことができることとする。

## (2) 保育の標準的な方法

人工造林を実施した森林においては、次を目安とする。ただし、造林木の確実な育成を図ることを前提に、生産性の向上等の観点から、下刈回数等の低減、下刈手法の簡素化等可能な限り省力化を図ることとする。

保育の種類	樹種	実施林齢（年）											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	15
下刈	スギ	○	○	○	○	○							
つる切	ヒノキ						○		○				
除伐											○		○

## (3) その他必要な事項

特になし

## 4 公益的機能別施業森林の整備に関する事項

### (1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法

#### ア 公益的機能別施業森林の区域

\*5  $Ry$  : 収量比数。森林の密度の相対値を示す収量の指標で、ある樹高における最大の材積を1としたときの現実の材積の割合を示したもの。

(ア) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

別表1のとおり定める。

(イ) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

a 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

別表1のとおり定める。

b 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

別表1のとおり定める。

c 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

別表1のとおり定める。

イ 公益的機能別施業森林区域内における施業の方法

(ア) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

良質な水の安定供給を確保する観点から、森林の健全性を確保するための適切な除・間伐とともに、高齢級の森林への誘導や伐期の間隔の拡大(長伐期施業、伐期の延長)、森林の面的広がりやモザイク的配置を考慮した伐採、1箇所あたりの伐採面積の縮小を基本とする森林施業を推進することとする。

立地条件や機能の維持増進のため必要かつ適切と見込まれる場合は、針葉樹単層林の伐期の長期化や天然力等を活用した針広混交林化、人為と天然力とを組み合わせた複層林化(長伐期施業、択伐による複層林施業、複層林施業(択伐によるものを除く))を推進することとする。

(イ) 土地に関する災害の防止機能及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

a 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図りつつ、立地条件や国民等のニーズに応じ、針葉樹単層林の伐期の長期化(長伐期施業)や天然力等を活用した針広混交林化、人為と天然力とを組み合わせた複層林化(択伐による複層林施業、複層林施業(択伐によるものを除く))を図ることとする。

b 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進するため、立地条件や国民等のニーズに応じ、天然力等を活用した針広混交林化、人為と天然力とを組み合わせた複層林化（択伐による複層林施業、複層林施業（択伐によるものを除く））を図ることとする。

c 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

国民に憩いと学びの場を提供する観点から、森林とのふれあいやボランティア団体等が行う自発的な森林づくり活動の場として利用される森林については、景観の向上に配慮した天然生林施業、郷土樹種を主体とする花木や広葉樹との混交も考慮に入れた複層林施業（択伐による複層林施業、複層林施業（択伐によるものを除く））、人工林の有する美的景観を維持及び林業生産活動のモデルとするための育成単層林施業（長伐期施業）の推進等に努めるほか、森林レクリエーション施設と一体となった快適な森林空間を創出する。

また、自然環境の保全を最も重視すべき森林については、天然力の活用を基本とした天然生林施業を推進することとし、必要に応じて、野生生物の生息地の減少及び分断を防ぐため、広域的な観点から森林の連続性に配慮した回廊状の森林の確保を図ることとする。

(2) その他必要な事項

特になし

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

林道等路網の開設については、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮し、木材の搬出を伴う間伐の実施や多様な森林への誘導等に必要な森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなる路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムに対応したものとする。

また、林道等の開設に当たっては、森林の利用形態や地形・地質等に応じ林業専用道を導入するなど、丈夫で簡易な規格・構造を柔軟に選択するとともに、自然条件や社会的条件が良好で将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に整備を進めるなど、森林施業の優先順位に応じた整備を推進することとする。

○基幹路網の現状

単位 延長：km

区分	路線数	延長
基幹路網	20	40.3
うち林業専用道	3	4.3

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

区分	作業システム	路網密度	
		基幹路網	
緩傾斜地(0°～15°)	車両系作業システム <sup>*6</sup>	100m/ha以上	35m/ha以上
中傾斜地(15°～30°)	車両系作業システム	75m/ha以上	25m/ha以上
	架線系作業システム <sup>*7</sup>	25m/ha以上	
急傾斜地(30°～35°)	車両系作業システム	60m/ha以上	15m/ha以上
	架線系作業システム	15m/ha以上	
急峻地(35°～)	架線系作業システム	5m/ha以上	5m/ha以上

(3) 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法

特になし

(4) その他必要な事項

民有林と国有林の林道等を効率よく結ぶ方法等を導入し、県、関係市町と連携及び調整を行うこととする。

## 6 森林施業の合理化に関する事項

(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

素材生産事業体等の林業事業体は、経営基盤の弱体な小規模零細な事業体が多く、また、林業労働者の減少・高齢化が進んでいる状況にあることから、一般林政施策との連携の下に、計画的な事業の発注や複数年契約の導入等により林業事業体の経営の安定化を図るなど育成強化策の一層の充実に努める。

(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

林業経営コストの増嵩、労働災害の防止、林業就労者の減少等の状況に対処するため、生産コストの低減、労働環境の改善等を大幅に促進する林業の機械

\*6 車両系作業システム：林内にワイヤロープを架設せず、車両系の林業機械により林内の路網を移動しながら木材を集積、運搬するシステム。フォワーダ等を活用する。

\*7 架線系作業システム：林内に架設したワイヤロープに取り付けた搬器等を移動させて木材を吊り上げて集積するシステム。タワーヤード等を活用する

化が急務となっている。

このため、傾斜等自然条件、路網の整備状況、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮し、間伐の実施や複層林への誘導に必要な非皆伐施業にも対応した高性能林業機械を核とする作業システムの導入と普及及び定着を目的として、生産性の向上に資する高性能林業機械を活用した列状間伐や伐採と造林の一貫作業システム等の導入、現地の作業条件に応じた作業システムを効率的に展開できる技術者の養成等総合的な取組を支援する。

### (3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針

林産物の利用促進を図るため、森林所有者等から木材製造業者等に至る木材の安定的取引関係の確立、需要者のニーズに即した品質や強度性能の明確な木材製品を安定的に供給し得る体制の整備等の推進が求められている中、国有林としては、樹材種の変化を踏まえつつ、民有林とも連携し、計画的な木材の供給を通じて、これらを支援することとする。

### (4) その他必要な事項

森林経営管理制度の導入により、民有林において、森林の経営管理を森林所有者自らが実行できない場合には、市町村が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については意欲と能力のある林業経営者に再委託することとなっている。このため、国有林としても、事業委託に際してはこうした林業経営者の受注機会の拡大に配慮するなど、意欲と能力のある林業経営者の育成に取り組むとともに、自ら森林経営を実施する市町村を支援するため、職員を対象とする研修を活用した市町村林業担当者研修や現地検討会の開催等を通じて森林・林業技術の普及や情報提供に取り組む。

## 第4 森林の保全に関する事項

### 1 森林の土地の保全に関する事項

#### (1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

土地の形質の変更に当たっては、調和のとれた快適な地域環境の整備を推進する観点に立って森林の適正な保全と利用との調和を図ることとする。なお、土地の形質の変更を行う場合は、下記に留意することとする。

ア 土石の切取・盛土等土地の形質の変更に当たっては、地形、地質等の条件、行うべき施業の内容等に留意して、その実施地区の選定を行うこととする。

イ 土石の切取・盛土を行う場合には、法勾配の安定を図り、必要に応じて法面保護のための緑化工、土留工等の施設の設置及び水の適切な処理のための排水施設を設けることとする。

ウ その他の土地の形質の変更の場合には、土砂の流出、崩壊、水害等の災害の発生をもたらす、又は地域における水源の確保、環境の保全に支障を及ぼすことのないよう、その態様等に応じ、法面の緑化、土留工等の防災施設、

貯水池等の設置及び環境の保全等のための森林の適正な配置等、適切な措置を講ずることとする。

(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位 面積：ha

森林の所在		面積	留意すべき事項	備考
市 町	地区(林班)			
高松市	21、22、25～27、 30～36、37内、38、39内	1,369.73	林地の適切な管理並びに適切な施業の実施により林地の保全を図るほか、土石・樹根の採掘、開墾、その他土地の形質の変更にあたっては十分留意するものとする。 なお、保安林については上記に留意するほか、各保安林の指定施業要件によるものとする。	水源かん養保安林、土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林、干害防備保安林及び魚つき保安林並びに別表1の2の①に掲げる森林のうち保安林ではないもの。
丸亀市	47	77.90		
坂出市	47	24.08		
観音寺市	69内、75内	21.02		
さぬき市	16、18、19、28	149.81		
東かがわ市	1～15、17、(東)1、2	(4.4) 1,900.12		
三木町	29	105.98		
綾川町	40～45、(綾)1	(15.85) 628.18		
まんのう町	45、51～68	2,034.38		

- (注) 1 地区欄には、当該地区の属する林班名を記載する。  
 2 留意すべき事項欄には、水源涵養、土砂流出防止等について特に留意すべき事項を記載する。  
 3 備考欄には、保安林、施業を特定する必要がある林分等の場合には、その種類を記載する。  
 4 地区欄の( )は官行造林の契約相手の略称を示す。  
 5 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法  
 該当なし

(4) その他必要な事項  
 特になし

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する事項

保安林については、第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、流域における森林に関する自然条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の

防備、保健・風致の保存等の目的を達成するため保安林として指定する必要がある森林について、水源かん養保安林、土砂流出防備保安林、保健保安林等の指定に重点を置いて保安林の配備を計画的に推進するとともに、必要に応じて指定施業要件を見直し、その保全を確保することとする。

(2) 保安施設地区に関する事項

該当なし

(3) 治山事業に関する事項

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点から、第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、近年、頻発する集中豪雨や地震等による大規模災害の発生のおそれが高まっていること及び山腹崩壊等に伴う流木災害が顕在化していることを踏まえ、山地災害による被害を防止・軽減する事前防災・減災の考え方に立ち、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽、本数調整伐等の保安林の整備及び溪間工、山腹工等の治山施設の整備を、流域特性等に応じた形で計画的に推進することとする。また、流木対策としては、根系等の発達を促す間伐等の森林整備を行うとともに、現地の状況に応じて、流木捕捉式治山ダムの設置や流木化して下流域へ被害を及ぼす可能性の高い流路部の立木の伐採等に努めることとする。

その中で、流域保全の観点からの関係機関との連携や地域における避難体制の整備などのソフト対策との連携を通じ、効果的な治山対策を講ずる。その際、保安林における伐採等に対する規制措置と治山事業の実施の一体的な運用、コストと品質の両面を重視しつつ、既存施設の長寿命化対策を含めた総合的なコスト縮減に努める。また、現地の実情を踏まえ、間伐材等木材の利用促進を図るとともに、必要に応じて在来種による緑化や治山施設への魚道の設置など生物多様性の保全に努める。

(4) その他必要な事項

保安林の適正な管理を確保するため、地域住民、地方公共団体等の協力・参加が得られるよう努めるとともに、保安林台帳の調製、標識の設置等を適正に行うこととする。

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

ア 区域の設定

鳥獣害防止森林区域については別表2のとおり定める。

イ 鳥獣害の防止の方法



森林の適確な更新及び造林木の確実な育成を図ることを旨として、地域の実情に応じて、対象鳥獣であるニホンジカによる被害の防止に効果を有すると考えられる方法として、防護柵の設置若しくは維持管理、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリングの実施等の植栽木の保護措置又はわな捕獲（くくりわな、囲いわな、箱わな等によるものをいう。）、銃器による捕獲等による鳥獣害防止対策を推進する。

その際、関係機関等と連携し、四国森林管理局が開発した安価で組立が容易な小型囲いわなの普及や市町村、猟友会、森林管理署等との協定締結によるニホンジカ被害対策を推進するとともに、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携・調整に努める。

- (2) その他必要な事項  
特になし

#### 4 森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項

レクリエーションの森など特に利用者が多く、山火事等のおそれのある箇所については、森林保護及び山火事防止を呼び掛ける標識を設置するとともに、巡視を強化し被害の未然防止に努める。

- (1) 森林病虫害等の被害対策の方針

松くい虫をはじめとする病虫害の早期発見、早期防除、他の樹種への転換に努める。

- (2) 鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）

3（1）アにおいて定める鳥獣害防止森林区域外におけるニホンジカや新植箇所におけるノウサギ等による森林被害についても、必要に応じ、3（1）イに準じた対策を実施する。

- (3) 林野火災の予防の方針

林野火災等の森林被害を未然に防止するため、林内歩道等の整備を図りつつ、森林巡視、山火事警防等を実施するとともに、防火線、防火樹帯等の整備を推進することとする。

- (4) その他必要な事項

ア レクリエーションの森等の管理

レクリエーションの森等の管理に当たっては、利用実態に即した施業の実施、利用者への安全確保等に配慮する。

イ 技術の開発及び普及

多様な森林づくりによる公益的機能の高度発揮や林業の低コスト化等に資

する技術の開発・実証に取り組み、その成果の普及・定着に努める。

ウ 森林環境教育等の充実

教育・環境・地域振興等の分野と連携し、森林環境教育の推進を図るとともに、森林環境教育活動の充実のため、普及啓発、情報提供、技術指導等を推進する。

第5 計画量等

1 伐採立木材積

単位 材積：千m<sup>3</sup>

区分	総数			主伐			間伐		
	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
総計	(39.7) 416.6	(24.9) 377.2	(14.8) 39.4	(39.7) 196.8	(24.9) 157.4	(14.8) 39.4	(-) 219.8	(-) 219.8	(-) -
[前半5カ年分]									
	(24.0) 212.0	(14.0) 191.0	(10.0) 21.0	(24.0) 104.9	(14.0) 83.9	(10.0) 21.0	(-) 107.0	(-) 107.0	(-) -

(注) ( ) は、官行造林で内書とする。

2 間伐面積

単位 面積：ha

区分	間伐
総数	2,181
前半5カ年分	1,002

3 人工造林及び天然更新別の造林面積

単位 面積：ha

区分	人工造林	天然更新
総数	364	91
前半5カ年分	166	41

4 林道の開設及び拡張に関する計画

単位 延長：km, 面積：ha, 材積：千m<sup>3</sup>

開設 拡張 別	種類	区分	位置 (市町)	路線名	延長 及び 箇所数	利用 区域 面積	前半 5カ 年分	対図 番号	備考
開設	自動車道	林業 専用道	綾川町	檜原	1.10 1	368	0.55 1	①	その他
			小計		1.10 1	368	0.55 1		
			まんのう町	柞多尾63	1.55 1	92	1.00 1	②	その他
				浅木原	1.25 1	112	0.60 1	③	その他
			小計		2.80 2	204	1.60 2		
開設計					3.90 3	572	2.15 3		
拡張	(路盤工外)		高松市	鷹山	0.40 1		0.20 1		その他
	(路盤工外)			大相	0.40 1		0.20 1		その他
	(路盤工外)			大相木綿 織線	0.20 1		0.10 1		その他
	小計			1.00 3		0.50 3			
	(路盤工外)		東かがわ市	中尾12	2.00 1		1.00 1		その他
	(路盤工外)			清水3	0.40 1		0.20 1		その他
	(路盤工外)			清水	0.40 1		0.20 1		その他
	(路盤工外)			大坂	0.40 1		0.20 1		その他
	(路盤工外)			中尾	0.40 1		0.20 1		その他
	小計		3.60 5		1.80 5				

単位 延長：km, 面積：ha, 材積：千m<sup>3</sup>

開設 拡張 別	種類	区分	位置 (市町)	路線名	延長 及び 箇所数	利用 区域 面積	前半 5カ 年分	対図	備考		
拡張	(路盤工外)		三木町	大満地	0.40 1		0.20 1		その他		
			小計		0.40 1		0.20 1				
	(路盤工外)		綾川町	檜原	1.00 1		0.50 1		その他		
			小計		1.00 1		0.50 1				
	(路盤工外)	まんのう町		多治川	3.00 1		1.50 1		その他		
	(路盤工外)			柞多尾	1.00 1		0.50 1		その他		
	(路盤工外)			奈良ノ木	1.00 1		0.50 1		その他		
	(路盤工外)			東多治川	0.40 1		0.20 1		その他		
	(路盤工外)			柞多尾62	0.50 1		0.25 1		その他		
	(路盤工外)			浅木原	0.40 1		0.20 1		その他		
	(路盤工外)			滝山	0.40 1		0.20 1		その他		
	(路盤工外)			柞野	0.40 1		0.20 1		その他		
	(路盤工外)			三頭	0.40 1		0.20 1		その他		
	(路盤工外)			天久保	0.20 1		0.10 1		その他		
	小計		7.70 10		3.85 10						
	拡張計					13.70 20		6.85 20			

5 保安林整備及び治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位 面積：ha

保安林の種類	面積		備考
		前半5カ年の計画面積	
総数（実面積）	6,989	6,791	
水源涵養のための保安林	5,974	5,661	
災害防備のための保安林	865	865	
保健、風致の保存等のための保安林	1,973	1,973	

(注) 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源涵養のための保安林等の内訳の合計に一致しないことがある。

② 計画期間内において、保安林の指定又は解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

単位 面積：ha

指定 ／ 解除	保安林の種類	森林の所在		面積		指定又は解除を 必要とする理由
		市町村	区域 (林小班)	うち前半 5年分		
指定	水源涵養 保安林	観音寺市	69・70・71	716	403	水源涵養のため
			72・74・75			
			77・78・79			
81						
		さぬき市	18	9	9	
		計		725	412	
指定	土砂崩壊防備 保安林	高松市	21・22	45	45	土砂崩壊の発生 を防止するため
		東かがわ市	5・6・8	61	61	
		計		106	106	
解除	水源涵養 保安林	東かがわ市	14・15	13	13	ダム建設予定地
		計				

③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積  
該当なし

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等  
該当なし

(3) 実施すべき治山事業の数量

単位：地区

森林の所在		治山事業施行地区数		主な工種	備考
市町	区域		前半5カ 年の計画		
高松市	[21] [25,26] [29] [30] [31] [34] [39]	7	7	溪間工・山腹工 本数調整伐	
観音寺市	[69,70] [75] [78]	3	3	溪間工・山腹工 本数調整伐	
さぬき市	[16]	1	1	本数調整伐	
東かがわ市	[1] [4] [5~8] [10,11] [13,14] [15]	6	6	溪間工・山腹工 本数調整伐	
綾川町	[12] [43,44]	2	1	溪間工 本数調整伐	
まんのう町	[53,54] [56] [57,58] [61] [62] [65] [66] [68]	8	7	溪間工・山腹工 本数調整伐	
合計		27	25		

(注) 事業は、林班の一部で実施するものである。

第6 その他必要な事項

1 保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

単位：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法	
	市町	区域		伐採方法	その他
水源かん養 保安林	高松市	30～34	741.32	皆伐とする。 1 伐採箇所の面積はおお むね5 ha以下とする。 ただし、皆伐以外の伐採 指定施業要件による。	
	観音寺市	75内	18.21		
	さぬき市	16、18内、19、28	138.88		
	東かがわ市	1内、2～4、9～15	1,623.19		
	三木町	29	104.87		
	綾川町	40～45	608.37		
	まんのう町	45、51～65、66内 67、68内	2,027.13		
計			5,261.97		
土砂流出防 備保安林	高松市	25内、26、27、35 36、37内～39内	541.75	皆伐（択伐）とする。 1 伐採箇所の面積はおお むね5 ha以下とする。 ただし、皆伐以外の伐採 種が指定されている場合は 指定施業要件による。	
	観音寺市	69内、75内	2.81		
	東かがわ市	5内、6内、7、8内 17	161.37		
	綾川町	(綾)1	(15.85) 15.85		
計			(15.85) 721.78		
潮害防備保 安林	高松市	38内、39内	7.90	択伐とする。 ただし、皆伐以外の伐採 種が指定されている場合は 指定施業要件による。	
	東かがわ市	8内	24.64		
計			32.54		
干害防備保 安林	高松市	37内	4.92	皆伐（択伐）とする。 1 伐採箇所の面積はおお むね5 ha以下とする。 ただし、皆伐以外の伐採 種が指定されている場合は 指定施業要件による。	
	計				



単位：ha

種 類	森 林 の 所 在		面 積	施 業 方 法	
	市 町	区 域		伐 採 方 法	そ の 他
魚つき保安林	高松市	21内、22内、38内 39内	58.68	択伐とする。 ただし、択伐以外の伐採種が指定されている場合は指定施業要件による。	
	東かがわ市	5内、6内、8内 17内	87.43		
計			146.11		
航行目標保安林	坂出市	47内	0.06	択伐とする。 ただし、択伐以外の伐採種が指定されている場合は指定施業要件による。	
	計		0.06		
保健保安林	高松市	21内、22、25内、26、 27、30、31、35、36、 37内、38、39	763.83	択伐とする。 ただし、択伐以外の伐採種が指定されている場合は指定施業要件による。	
	丸亀市	47	77.90		
	坂出市	47	24.14		
	東かがわ市	5、6内、8	183.65		
	綾川町	42内、43内	250.46		
	まんのう町	66	4.20		
計			1,304.18		
風致保安林	高松市	25内、26、27、36内	420.28	択伐とする。 種が指定されている場合は指定施業要件による。	
	丸亀市	47	77.90		
	坂出市	47内	24.08		
計			522.26		
国立公園第2種特別地域	高松市	21内、22内、 25～27、38内 39内	437.75	択伐とする。 ただし、風致の維持に支障がない場合に限り、1伐採箇所を2ha以内の皆伐を行うことができる。	
	丸亀市	47	77.90		
	坂出市	47	24.14		
	東かがわ市	1内、5、6内、8	206.69		
計			746.48		

単位：ha

種 類	森 林 の 所 在		面 積	施 業 方 法	
	市 町	区 域		伐 採 方 法	そ の 他
国立公園第 3種特別地 域	高松市	38内、39内	17.43	皆伐とする。 ただし、風致の維持に支 障がない場合に限り、1伐 採箇所の面積をおおむね5 ha以下とする。	
	計		17.43		
県立自然公 園第1種特 別地域	高松市	31内	4.10	禁伐とする。 ただし、風致の維持に支 障がない場合に限り、単木 択伐を行うことができる。	
	計		4.10		
県立自然公 園第2種特 別地域	高松市	31内	29.57	択伐とする。 ただし、風致の維持に支 障がない場合に限り、1伐 採箇所の面積を2ha以内の 皆伐を行うことができる。	
	計		29.57		
県立自然公 園第3種特 別地域	高松市	30内～32内、34内	146.29	皆伐とする。 ただし、風致の維持に支 障がない場合に限り、1伐 採箇所の面積をおおむね5 ha以下とする。	
	まんのう町	55内～57内、61内	119.04		
	計		265.33		
史跡名勝天 然記念物	高松市	25～27、 35内～37内	405.51	禁伐とする。	
	計		405.51		

- (注) 1 林班全域については林班番号を、一部については林班番号の後に内を示す。  
 2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。  
 3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

2 その他必要な事項  
 特になし

別表1 公益的機能別施業森林の区域及び施業方法

1 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積：ha

区分	森林の区域		面積	施業方法
	国有林野	官行造林		
総数			(208.38) 7,716.75	
内 訳	高松市	21内、22内、25内～27内、 30～39	(香)1、2 1,438.51	小面積分散伐採、 長伐期施業、 複層林施業 (択伐)、 複層林施業 (択伐以外)
	丸亀市	47	77.90	
	坂出市	47	24.14	
	観音寺市	69～75、77～81	1,186.36	
	さぬき市	16、18、19、28	(さ)1、2 235.01	
	東かがわ市	1～15、17	(東)1、2 1,900.10	
	小豆島町		(小)1～3 58.15	
	三木町	29	105.98	
	綾川町	40～45	(綾)1 628.69	
	まんのう町	45、51～68	2,061.91	

(注) 1 林班全域については林班番号を、一部については林班番号の後に内を示す。

2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

2 土地に関する災害の防止機能、土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

① 森林の有する土地に関する災害の防止機能、土壌の保全機能の維持増進を図る森林

単位 面積：ha

区分	森林の区域		面積	施業方法
	国有林野	官行造林		
総数			(4.40) 2,088.70	
内 訳	高松市	21、22、25内～27内、33内、 37内～39内	521.09	小面積分散伐採、 長伐期施業、 複層林施業 (択伐)、 複層林施業 (択伐以外)
	丸亀市	47	77.90	
	坂出市	47内	24.08	
	さぬき市	16、18内、28内	136.04	
	東かがわ市	1内、5内～8内、11内～14内、15、17 (東)1、2	(4.40) 506.88	
	三木町	29内	67.57	
	綾川町	40内、41、42内～44内、45	578.12	
	まんのう町	45内、51、52、53内	177.02	

(注) 1 林班全域については林班番号を、一部については林班番号の後に内を示す。

2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

② 快適な環境の形成の機能の維持増進を図る森林

単位 面積：ha

区分	森林の区域		面積	施業方法
	国有林野	官行造林		
総数			775.72	
内 訳	高松市	21、22、25～27、35～39	649.04	長伐期施業、 複層林施業 (択伐)、 複層林施業 (択伐以外)
	丸亀市	47	77.90	
	坂出市	47	24.14	
	東かがわ市	8内	24.64	

(注) 1 林班全域については林班番号を、一部については林班番号の後に内を示す。

2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

③ 保健文化機能の維持増進を図る森林

単位 面積：ha

区 分	森林の区域		面積	施業方法
	国有林野	官行造林		
総 数			1,475.22	
内 訳	高松市	21、22、25～27、30内、31、32、 35～37、38内、39	902.85	長伐期施業、 複層林施業 (択伐)、 複層林施業 (択伐以外)
	丸亀市	47	77.90	
	坂出市	47	24.14	
	東かがわ市	1内、5、6、8	212.96	
	綾川町	42内、43内	253.17	
	まんのう町	66内	4.20	

(注) 1 林班全域については林班番号を、一部については林班番号の後に内を示す。

2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

別表2 鳥獣害防止森林区域

単位 面積：ha

区 分	対象鳥獣の 種類	森林の区域		面積
		国有林野	官行造林	
総 数				(163.60) 6,045.53
内     訳	高松市	ニホンジカ	30～34	744.69
	観音寺市	ニホンジカ	69～75、77～81	1,186.36
	さぬき市	ニホンジカ	16、28	(さ)1、2 182.98
	東かがわ市	ニホンジカ	1～4、9～15	(東)1、2 1,640.30
	三木町	ニホンジカ	29	105.98
	綾川町	ニホンジカ	40～45	(綾)1 628.69
	まんのう町	ニホンジカ	45、53～58、61～65	1,498.38
	小豆島町	ニホンジカ		(小)1～3 58.15

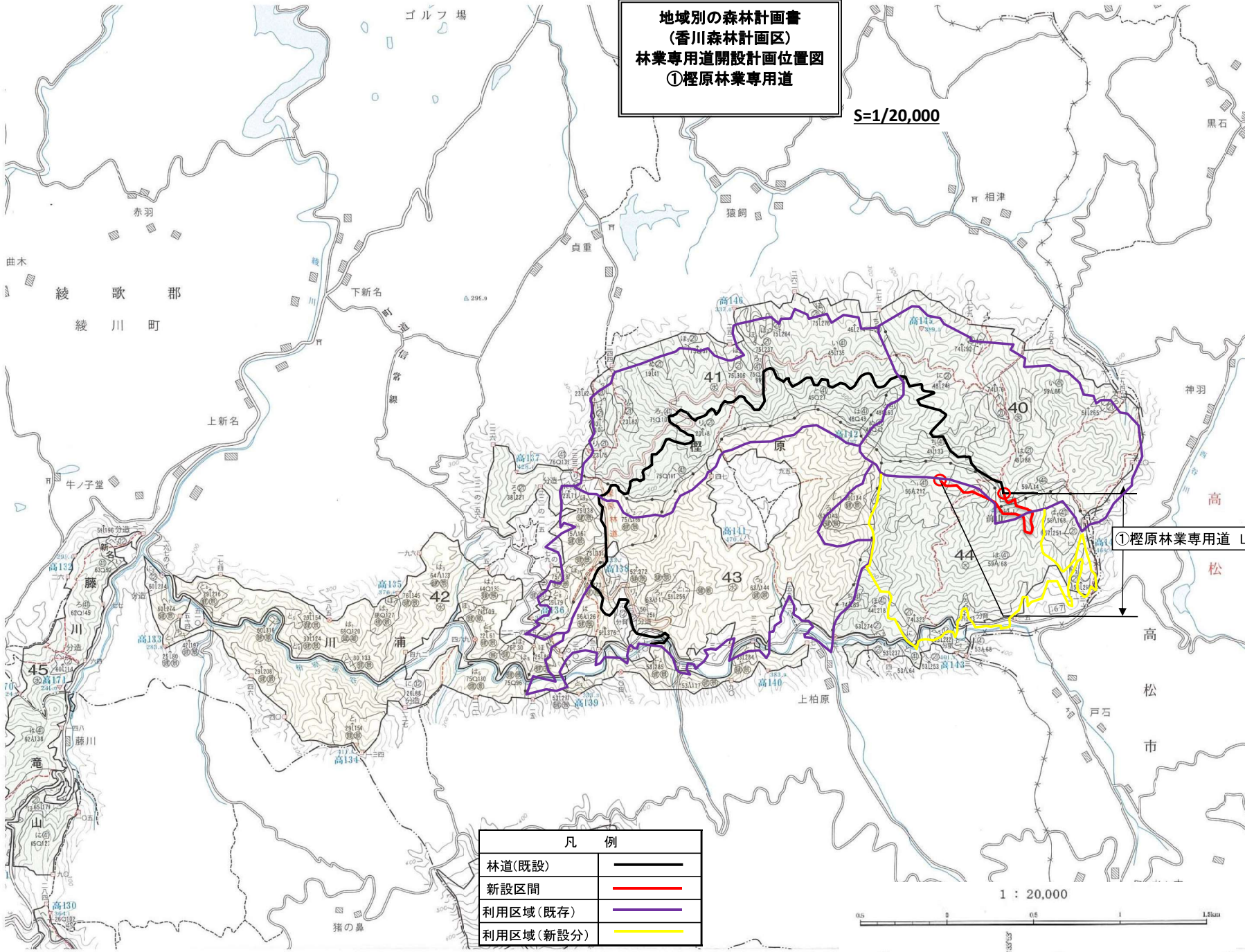
(注) 1 区域は、林班により表示する。

2 区域欄の( )は、官行造林の契約相手の略称を示す。

3 面積欄の( )は、官行造林で内書とする。

地域別の森林計画書  
 (香川森林計画区)  
 林業専用道開設計画位置図  
 ① 櫻原林業専用道

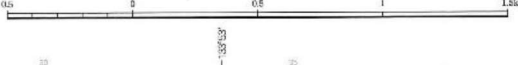
S=1/20,000

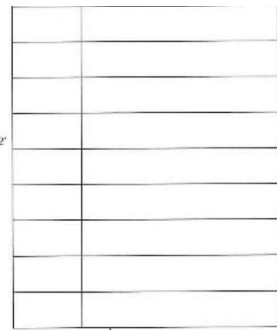


凡例	
林道(既設)	——
新設区間	——
利用区域(既存)	——
利用区域(新設分)	——

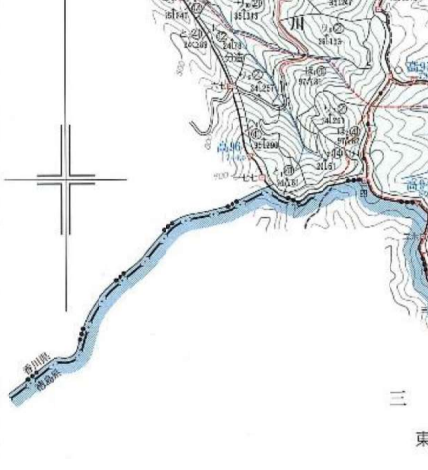
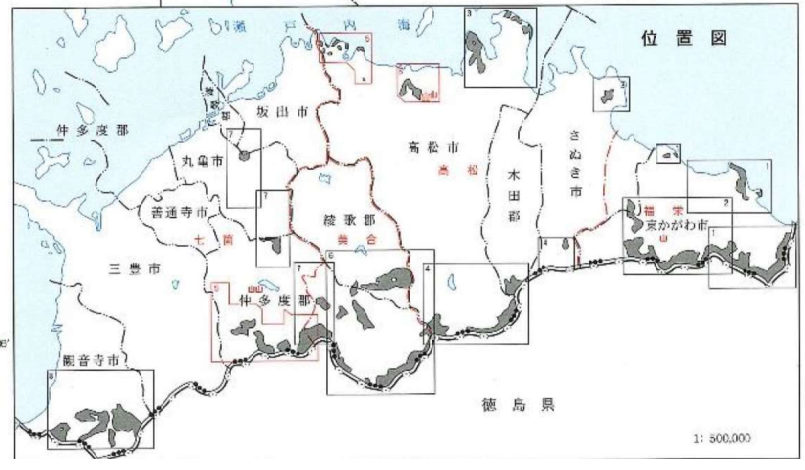
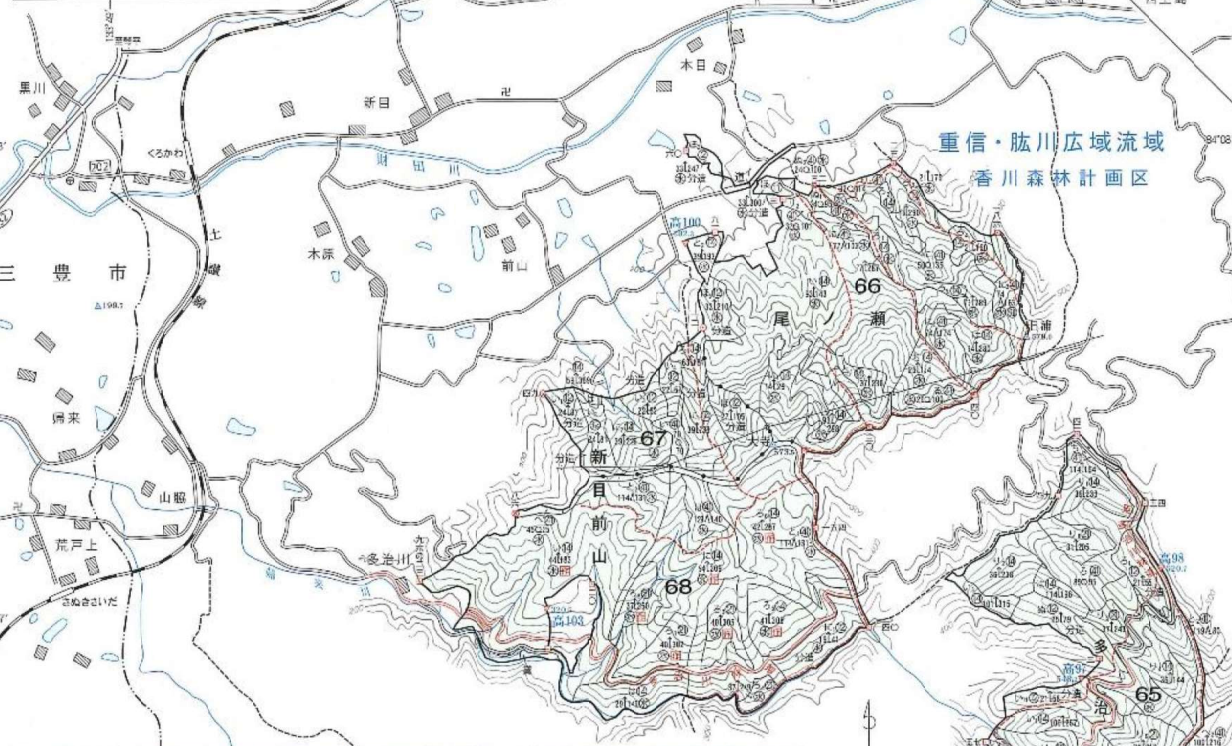
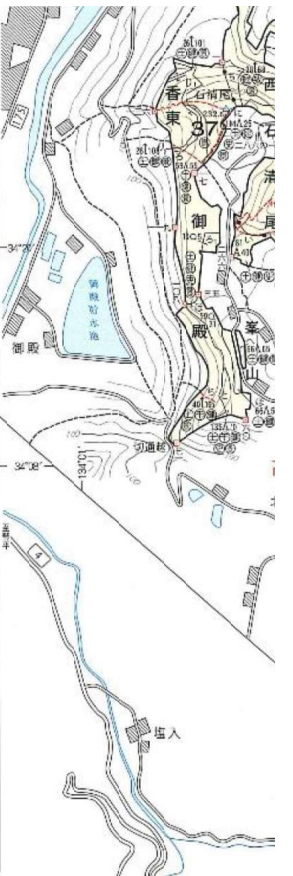
凡	
区	広域圏
界	森林計画
	森林管理
	担当
界	林班
	小班
界	同一小班的
	境界
界	国土保
	国土保全
	国土保全
界	水源かん養
	森林と人の
	自然維持
界	森林と人の
	森林空間利用
	資源の循環
生	① スギ
	② ヒノキ
	③ スギ大
	④ ヒノキ大
	⑤ ヤナセスギ
	⑥ ヒノキ中
	⑦ スギ・ヒノキ
	⑧ スギ大径材
	⑨ ヒノキ大径材
	⑩ ヤナセスギ大径材
	⑪ 天然一般
	⑫ 天然大径
	⑬ ヤナセスギ大径材
	⑭ 天然一般
	⑮ 中大径材
⑯ 天然ヤナセ	
⑰ シイタク	
⑱ スギ分層	
⑲ ヒノキ分層	
⑳ スギ長	
㉑ ヒノキ長	
㉒ ヤナセスギ	
㉓ 雑	
㉔ スギ長伐	
㉕ ヒノキ長伐	
㉖ その他	
㉗ ヤナセスギ	
㉘ ヤナセスギ	
㉙ 天然ヤナセ材	
㉚ 雑	
林	① 間伐
	② 人工林
	③ 広葉
	④ 雑
	⑤ 天然
	⑥ 天然
	⑦ 人工林
	⑧ 天然
	⑨ 天然
	⑩ 天然
相	① 天然
	② 天然
	③ 天然
	④ 天然
伐	① 主
	② 伐
	③ 間
	④ 間
伐	① 水源かん
	② 土砂
	③ 土砂
	④ 防
指	① 瀬
	② 安

1 : 20,000





地域別の森林計画書  
 (香川森林計画区)  
 林業専用道開設計画位置図  
 ②柞多尾63林業専用道

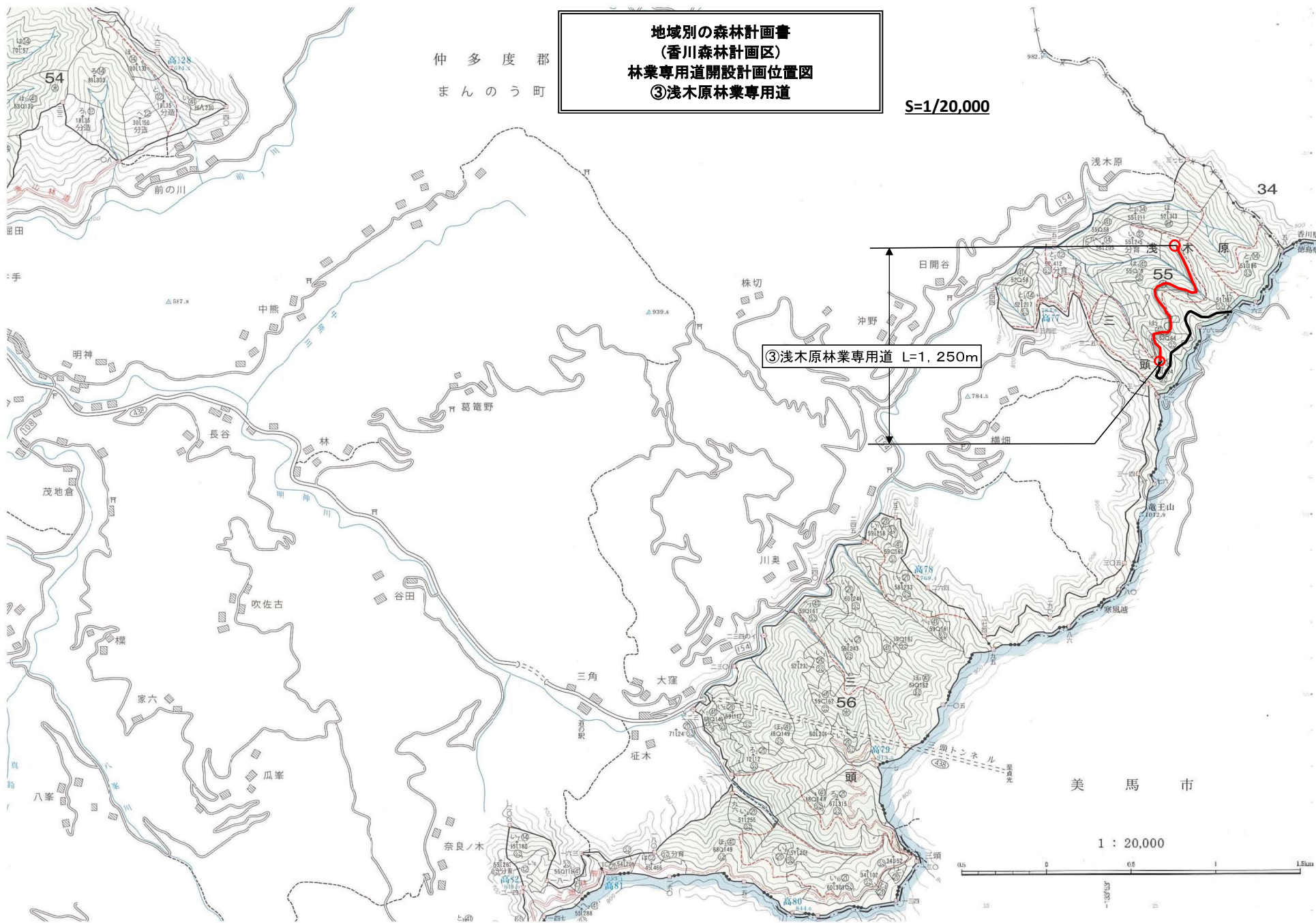




地域別の森林計画書  
(香川森林計画区)  
林業専用道開設計画位置図  
③浅木原林業専用道

仲多度郡  
まんのう町

S=1/20,000



(附) 参 考 资 料

## 目 次

1	森林計画区の概況	1
(1)	市町村別土地面積及び森林面積	1
(2)	地況	1
(3)	土地利用の現況	3
(4)	産業別生産額	4
(5)	産業別就業者数	4
2	森林の現況	5
(1)	齢級別森林資源表	5
(2)	制限林普通林別森林資源表	10
(3)	市町村別森林資源表	11
(4)	制限林の種類別面積	14
(5)	樹種別材積表	16
(6)	荒廃地等の面積	16
(7)	森林の被害	17
(8)	防火線等の整備状況	17
3	林業の動向	18
(1)	森林組合及び生産森林組合の現況	18
(2)	林業事業体等の現況	20
(3)	林業労働力の概況	21
(4)	林業機械化の概況	21
(5)	作業路網等の整備の概況	21
4	前期計画の実行状況	23
(1)	間伐立木材積その他の伐採立木材積	23
(2)	間伐面積	23
(3)	人工造林・天然更新別面積	23
(4)	林道の開設及び拡張の数量	23
(5)	保安林の整備及び治山事業に関する計画	24
5	林地の異動状況（森林計画の対象森林）	25
(1)	森林より森林以外への異動	25
(2)	森林以外より森林への異動	25
6	森林資源の推移	26
(1)	分期別伐採立木材積等	26
(2)	分期別期首資源表	27

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積:ha、比率:%

区 分	区域面積 ①	森 林 面 積			森林比率 ②/①×100	
		総数 ②	国有林	民有林		
総 数	187,678	87,762	8,206	79,556	47	
市 町 村 内 訳	土 庄 町	7,438	4,695	0	4,695	63
	小 豆 島 町	9,559	6,935	58	6,877	73
	さ ぬ き 市	15,863	8,281	244	8,037	52
	東かがわ市	15,283	10,433	1,900	8,533	68
	高 松 市	37,542	14,316	1,521	12,795	38
	三 木 町	7,578	3,721	106	3,615	49
	直 島 町	1,422	978	0	978	69
	綾 川 町	10,975	5,143	629	4,514	47
	丸 亀 市	11,183	3,013	78	2,935	27
	坂 出 市	9,249	2,623	68	2,555	28
	善 通 寺 市	3,993	917	2	914	23
	宇 多 津 町	810	87	0	87	11
	琴 平 町	847	205	7	197	24
	多 度 津 町	2,439	553	0	553	23
	まんのう町	19,445	13,481	2,406	11,075	69
	観 音 寺 市	11,783	4,482	1,186	3,296	38
	三 豊 市	22,270	7,900	0	7,900	35

(注)1 区域面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和2年1月1日による。

2 森林面積のうち国有林面積は林野庁所管分は令和2年3月31日現在、その他省庁所管分は平成29年3月31日現在を示す。

3 民有林面積は、地域森林計画の対象森林(森林法第5条第1項)に含まれていない河川堤や畦畔等に付随する立木のある豆つぶ状(0.3ha以下)の森林及び境内地等を含めた全森林面積である。

4 整数を単位としていることから、内訳と計は必ずしも一致しない。

(2) 地況

ア 気候

観測地	気 温(℃)			年間降水量 (mm)	最高積雪量 (cm)	主風の方向	備 考
	最 高	最 低	年平均				
内 海	35.9	-1.7	16.5	1,231	—	NE	
引 田	35.9	-3.2	16.3	1,359	—	ESE	
高 松	36.9	-1.8	17.1	1,283	—	NE	
滝 宮	36.9	-4.5	15.6	1,347	—	NNE	
多 度 津	37.0	-1.7	16.9	1,285	—	NE	
財 田	36.9	-4.6	15.5	1,479	—	ESE	

(注)気象庁ホームページ 気象観測データによる。

気温、年間降水量、最高積雪量は2015～2019年の5年間の平均値。

## イ 地勢

本計画区は、四国の東北部に位置し、面積は約1,877km<sup>2</sup>で、東西約90km南北最大約60kmにひろがり、瀬戸内海に浮かぶ多数の島々を含んでいる。

地形は半月形をなし、南は讃岐山脈を背景に、北は瀬戸内海に面し、南は徳島県に、西は愛媛県に接している。南部は山岳地帯であり、北部には讃岐平野が広がっている。

河川はほとんど讃岐山脈に源を發し、北流して瀬戸内海に注いでおり、河幅は狭く水量も少ない。

## ウ 地質、土壌等

本計画区の地形は、南部に連なる讃岐山脈と北部に広がる讃岐平野、そこに点在する台地状や円錐状の孤峰、瀬戸内海に点在する多数の島々に特徴づけられる。これらの地形は、花崗岩を基盤とし、その上に堆積層や火山岩類が重なってできたものである。この花崗岩は起伏に富み、その上部の火山岩類とともに浸食され、讃岐山脈や台地状・円錐状の山々、平野といった本計画区の地形を形作っている。

讃岐山脈は、標高500～1,000mの山々が東西方向に尾根を連ねており、太平洋の海底に堆積した泥や砂(和泉層群)が起伏して形成されたとされる。

讃岐山脈の北側には標高100～400mの丘陵地が東西に延びている。この丘陵地は、浸食平坦面が上昇した山麓台であり、100～200万年前の砂礫層(三豊層群)が見られる。

北部に広がる讃岐平野には標高200～800mの台地状や円錐状の孤峰が多数見られる。これらは火山性の山塊群で、花崗岩を基盤とし、その上に凝灰岩、讃岐安山岩が流出し形成されている。

瀬戸内海に点在する大小の島々も、平野部の山塊群と同様、山頂に讃岐安山岩を残す火山性の山塊群である。

## (3) 土地利用の現況

単位 面積:ha

区 分	総 数	森 林	農 地			そ の 他		
			総 数	うち田	うち畑	総 数	うち宅地	
総 数	187,678	87,762	39,557	26,829	12,728	60,359	18,318	
市	土庄町	7,438	4,695	1,141	286	855	1,602	326
	小豆島町	9,559	6,935	857	148	710	1,767	329
町	さぬき市	15,863	8,281	3,072	2,424	648	4,510	1,134
	東かがわ市	15,283	10,433	1,920	1,553	367	2,930	784
村	高松市	37,542	14,316	7,871	5,823	2,048	15,355	5,784
	三木町	7,578	3,721	1,602	1,371	231	2,255	507
別	直島町	1,422	978	51	13	37	393	113
	綾川町	10,975	5,143	2,302	2,006	296	3,530	674
内	丸亀市	11,183	3,013	3,244	2,502	743	4,926	1,985
	坂出市	9,249	2,623	2,076	1,125	952	4,550	1,516
訳	善通寺市	3,993	917	1,286	1,046	240	1,790	600
	宇多津町	810	87	116	86	30	607	286
内	琴平町	847	205	245	238	7	397	167
	多度津町	2,439	553	707	459	248	1,179	541
	まんのう町	19,445	13,481	2,562	1,807	755	3,402	534
	観音寺市	11,783	4,482	3,183	2,349	834	4,118	1,271
	三豊市	22,270	7,900	7,321	3,594	3,728	7,049	1,768

(注) 区域面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和2年1月1日による。

田、畑、宅地の面積は、令和元年香川県統計年鑑による。

整数を単位としていることから、内訳と計は必ずしも一致しない。

## (4) 産業別生産額

単位 金額:億円

区 分	総 生 産 業	第 1 次 産 業				第2次 産 業	第3次 産 業
		総 額	農 業	林 業	水産業		
総 数	38,672	578	476	23	80	10,704	27,390

(注)平成29年度 香川県県民経済計算

整数を単位としていることから、内訳と計は必ずしも一致しない。

## (5) 産業別就業者数

単位 人数:人

区 分	総 数	第1次産業				第2次 産 業	第3次 産 業
		計	農 業	林 業	水産業		
総 数	438,935	23,823				113,711	301,401
町 村 別 内 訳	土 庄 町	6,704	468			1,746	4,490
	小豆島町	6,623	364			2,190	4,069
	さぬき市	22,910	1,817			6,274	14,819
	東かがわ市	14,360	1,277			5,263	7,820
	高 松 市	184,311	5,085			37,586	141,640
	三 木 町	12,844	856			3,145	8,843
	直 島 町	1,606	92			585	929
	綾 川 町	11,059	1,117			2,686	7,256
	丸 亀 市	48,931	1,918			15,014	31,999
	坂 出 市	23,109	1,200			6,451	15,458
	善通寺市	14,947	924			3,541	10,482
	宇多津町	8,593	106			2,771	5,716
	琴 平 町	4,366	269			990	3,107
	多度津町	10,524	488			3,682	6,354
	まんのう町	8,699	1,134			2,501	5,064
	観音寺市	28,187	2,952			9,197	16,038
	三 豊 市	31,162	3,756			10,089	17,317

(注)統計でみる市区町村のすがた2020(令和2年6月)

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表

森林計画区： 118 香川

# 齢級別森林資源表

単位：面積：ha，材積：立木は1,000m<sup>3</sup> 立竹は1,000束 成長量：1,000m<sup>3</sup>

区分		総数			1 齢級			2 齢級			3 齢級			4 齢級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		7,716.75	1,411	27	23.02			18.41			27.35	1		16.55	1			
立木地	総数	総数	7,427.65	1,411	27	23.02			18.41			27.35	1		16.55	1		
		針	4,503.78	1,054	23	20.82			14.50			20.30			10.68	1		
		広	2,923.87	357	4	2.20			3.91			7.05			5.87			
	人工林	総数	総数	4,993.67	1,189	26	23.02			16.07			22.61			16.53	1	
			針	3,905.49	979	23	20.82			14.50			19.99			10.68	1	
			広	1,088.18	211	3	2.20			1.57			2.62			5.85		
		育成林	総数	4,917.37	1,169	25	23.02			16.07			22.61			16.53	1	
			針	3,838.39	959	22	20.82			14.50			19.99			10.68	1	
			広	1,078.98	210	3	2.20			1.57			2.62			5.85		
	天然林	育成林		(76.30)														
			総数	76.30	20	1												
			針	67.10	20	1												
		天然生	総数	総数	2,433.98	222	1				2.34			4.74			0.02	
				針	598.29	75								0.31				
				広	1,835.69	147	1				2.34			4.43			0.02	
育成林			総数															
			針															
			広															
天然生	総数	296.35	34								3.42							
	針	149.03	21								0.31							
	広	147.32	13								3.11							
竹林	天然生	総数	2,137.63	188	1				2.34			1.32			0.02			
		針	449.26	54														
		広	1,688.37	134	1				2.34			1.32			0.02			
無立木地		289.10																

- (注) 1. 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。  
 2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。  
 3. ( ) は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。



# 齡級別森林資源表

森林計画区： 118 香川

単位：面積：ha，材積：立木は1,000m<sup>3</sup> 立竹は1,000束 成長量：1,000m<sup>3</sup>

区分		5 齡級			6 齡級			7 齡級			8 齡級			9 齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		80.01	6	1	189.42	23	2	252.67	46	3	277.36	68	3	338.17	76	3		
立木地	総数	総数	80.01	6	1	189.42	23	2	252.67	46	3	277.36	68	3	338.17	76	3	
		針	68.86	6	1	138.36	19	2	128.06	30	2	180.81	52	3	222.39	59	2	
		広	11.15	1		51.06	5		124.61	15	1	96.55	16		115.78	17		
	人工林	総数	総数	80.01	6	1	180.49	22	2	212.12	41	2	230.81	63	3	332.64	75	3
			針	68.86	6	1	138.19	19	2	128.01	30	2	179.60	52	3	222.39	59	2
			広	11.15	1		42.30	4		84.11	10		51.21	11		110.25	16	
		育成 単層林	総数	40.51	3		147.08	20	2	208.73	40	2	230.81	63	3	332.64	75	3
			針	32.73	3		110.61	16	1	124.62	30	2	179.60	52	3	222.39	59	2
			広	7.78	1		36.47	3		84.11	10		51.21	11		110.25	16	
		育成 複層林	総数	39.50	3		33.41	2		3.39								
			針	36.13	3		27.58	2		3.39								
			広	3.37			5.83											
	天然林	総数	総数			8.93	1		40.55	5		46.55	5		5.53			
			針			0.17			0.05			1.21						
			広			8.76	1		40.50	5		45.34	5		5.53			
育成 単層林		総数																
		針																
		広																
育成 複層林		総数				0.85												
		針				0.17												
		広				0.68												
天然 生林	総数				8.08	1		40.55	5		46.55	5		5.53				
	針							0.05			1.21							
	広				8.08	1		40.50	5		45.34	5		5.53				
竹林																		
無立木地																		

- (注) 1. 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。  
 2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。  
 3. ( ) は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

# 齡級別森林資源表

森林計画区： 118 香川

単位：面積：ha，材積：立木は1,000m<sup>3</sup> 立竹は1,000束 成長量：1,000m<sup>3</sup>

区分	1 0 齡級			1 1 齡級			1 2 齡級			1 3 齡級			1 4 齡級				
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数	419.92	93	2	649.06	143	3	976.26	218	4	889.22	216	3	896.44	184	2		
総数	総数	419.92	93	2	649.06	143	3	976.26	218	4	889.22	216	3	896.44	184	2	
	針	257.85	70	2	537.76	122	3	662.76	180	3	722.71	179	3	533.40	137	2	
	広	162.07	23		111.30	21		313.50	38		166.51	38		363.04	47		
人工林	総数	総数	394.03	92	2	606.13	141	3	816.44	207	4	777.42	206	3	585.79	147	2
		針	256.79	70	2	533.29	122	3	654.22	179	3	689.67	172	3	430.46	122	2
		広	137.24	22		72.84	19		162.22	28		87.75	33		155.33	25	
	育成林	総数	394.03	92	2	606.13	141	3	816.44	207	4	777.42	206	3	585.79	147	2
		針	256.79	70	2	533.29	122	3	654.22	179	3	689.67	172	3	430.46	122	2
		広	137.24	22		72.84	19		162.22	28		87.75	33		155.33	25	
育成林	総数																
	針																
	広																
立木地	総数	総数	25.89	1		42.93	3		159.82	11		111.80	11		310.65	37	
		針	1.06			4.47	1		8.54	1		33.04	6		102.94	15	
		広	24.83	1		38.46	2		151.28	10		78.76	5		207.71	22	
	育成林	総数															
		針															
		広															
	育成林	総数										13.17	4		76.42	13	
		針										10.93	4		47.54	8	
		広										2.24			28.88	4	
	天然林	総数	25.89	1		42.93	3		159.82	11		98.63	7		234.23	24	
		針	1.06			4.47	1		8.54	1		22.11	2		55.40	7	
		広	24.83	1		38.46	2		151.28	10		76.52	5		178.83	17	
竹林																	
無立木地																	

- (注) 1. 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。  
 2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。  
 3. ( ) は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

# 齡級別森林資源表

森林計画区： 118 香川

単位：面積：ha，材積：立木は1,000m<sup>3</sup> 立竹は1,000束 成長量：1,000m<sup>3</sup>

区分		1 5 齡級			1 6 齡級			1 7 齡級			1 8 齡級			1 9 齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		401.38	64	1	386.99	75	1	258.84	35		103.12	27		131.74	26			
立木地	総数	総数	401.38	64	1	386.99	75	1	258.84	35		103.12	27		131.74	26		
		針	211.53	43		144.98	44		84.69	17		65.17	22		78.02	19		
		広	189.85	21		242.01	30		174.15	18		37.95	5		53.72	7		
	人工林	総数	総数	91.77	28		159.65	48		67.72	15		71.51	23		93.24	24	
			針	74.86	24		88.70	35		48.06	11		60.32	21		69.06	18	
			広	16.91	3		70.95	13		19.66	4		11.19	2		24.18	5	
		育成林	総数	91.77	28		159.65	48		67.72	15		71.51	23		93.24	19	
			針	74.86	24		88.70	35		48.06	11		60.32	20		69.06	14	
			広	16.91	3		70.95	13		19.66	4		11.19	2		24.18	5	
	育成林	総数										(2.99)			(19.38)			
		針											1			4		
		広											1			4		
	天然林	総数	総数	309.61	36		227.34	27		191.12	19		31.61	4		38.50	2	
			針	136.67	19		56.28	10		36.63	5		4.85	1		8.96	1	
			広	172.94	17		171.06	18		154.49	14		26.76	3		29.54	2	
育成林		総数																
		針																
		広																
育成林		総数	21.74	2		23.85	5		3.42			1.10			10.62			
		針	13.28	1		14.10	3		2.91			0.56			4.25			
		広	8.46	1		9.75	2		0.51			0.54			6.37			
天然生		総数	287.87	34		203.49	22		187.70	19		30.51	3		27.88	2		
		針	123.39	18		42.18	7		33.72	5		4.29	1		4.71			
		広	164.48	16		161.31	15		153.98	14		26.22	3		23.17	1		
竹林																		
無立木地																		

- (注) 1. 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。  
 2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。  
 3. ( ) は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

# 齡級別森林資源表

森林計画区： 118 香川

単位：面積：ha，材積：立木は1,000m<sup>3</sup> 立竹は1,000束 成長量：1,000m<sup>3</sup>

区分		20 齡級			21 齡級以上			
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	
総数		113.11	19		978.61	90		
立木地	総数	総数	113.11	19	978.61	90		
		針	86.84	10	313.29	43		
		広	26.27	9	665.32	47		
	人工林	総数	総数	88.38	17	127.29	33	
			針	81.74	9	115.28	27	
			広	6.64	8	12.01	5	
		育成林	総数	88.38	17	127.29	23	
			針	81.74	9	115.28	18	
			広	6.64	8	12.01	5	
	育成林	総数			(53.93)			
		針				10		
		広				10		
	天然林	総数	総数	24.73	2	851.32	58	
			針	5.10	1	198.01	16	
			広	19.63	1	653.31	42	
育成林		総数						
		針						
		広						
天然林		総数			141.76	9		
		針			54.98	4		
		広			86.78	5		
天然生		総数	24.73	2	709.56	49		
	針	5.10	1	143.03	12			
	広	19.63	1	566.53	37			
竹林								
無立木地								

- (注) 1. 人工林及び天然林で点生木のための林分については、本表の集計には含まれていない。  
 2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。  
 3. ( ) は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

## (2) 制限林普通林森林資源表

## 制限林普通林森林資源表

森林計画区：118 香川

(面積：h a, 材積：m<sup>3</sup>、成長量：m<sup>3</sup>/年)

区分			立木地						無立木地等					計		
			人工林			天然林			竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地		林地以外の 土 地	計
			育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林								
制限林	面積	針	2,595.59	67.10	2,662.69	149.03	442.59	591.62	3,254.31							
		広	1,059.81	9.20	1,069.01	147.32	1,675.88	1,823.20	2,892.21							
		計	3,655.40	76.30	3,731.70	296.35	2,118.47	2,414.82	6,146.52	28.72			119.06	147.78	6,294.30	
	材積	針	672,779	20,198	692,977	20,939	53,771	74,710	767,687						767,687	
		広	167,764	118	167,882	12,926	132,385	145,311	313,193						313,193	
		計	840,543	20,316	860,859	33,865	186,156	220,021	1,080,880						1,080,880	
	成長量	針	16,857.2	748.5	17,605.7	126.9	268.6	395.5	18,001.2						18,001.2	
		広	2,469.7	7.0	2,476.7	80.1	928.7	1,008.8	3,485.5						3,485.5	
		計	19,326.9	755.5	20,082.4	207.0	1,197.3	1,404.3	21,486.7						21,486.7	
普通林	面積	針	1,242.80		1,242.80		6.67	6.67	1,249.47							
		広	19.17		19.17		12.49	12.49	31.66							
		計	1,261.97		1,261.97		19.16	19.16	1,281.13	15.79			125.53	141.32	1,422.45	
	材積	針	285,915		285,915		667	667	286,582						286,582	
		広	42,724		42,724		1,204	1,204	43,928						43,928	
		計	328,639		328,639		1,871	1,871	330,510						330,510	
	成長量	針	5,195.2		5,195.2		0.6	0.6	5,195.8						5,195.8	
		広	486.2		486.2		38.3	38.3	524.5						524.5	
		計	5,681.4		5,681.4		38.9	38.9	5,720.3						5,720.3	
計	面積	針	3,838.39	67.10	3,905.49	149.03	449.26	598.29	4,503.78							
		広	1,078.98	9.20	1,088.18	147.32	1,688.37	1,835.69	2,923.87							
		計	4,917.37	76.30	4,993.67	296.35	2,137.63	2,433.98	7,427.65	44.51			244.59	289.10	7,716.75	
	材積	針	958,694	20,198	978,892	20,939	54,438	75,377	1,054,269						1,054,269	
		広	210,488	118	210,606	12,926	133,589	146,515	357,121						357,121	
		計	1,169,182	20,316	1,189,498	33,865	188,027	221,892	1,411,390						1,411,390	
	成長量	針	22,052.4	748.5	22,800.9	126.9	269.2	396.1	23,197.0						23,197.0	
		広	2,955.9	7.0	2,962.9	80.1	967.0	1,047.1	4,010.0						4,010.0	
		計	25,008.3	755.5	25,763.8	207.0	1,236.2	1,443.2	27,207.0						27,207.0	

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 竹林の集計値については、立木地の計欄及び立木地と無立木地等の合計欄には含まれていない。

## (3) 市町村別森林資源表

## 市町村別森林資源表

森林計画区：118 香川

(面積：h a, 材積：m<sup>3</sup>、成長量：m<sup>3</sup>/年)

市町村	区分	立木地							無立木地等					計			
		人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地		林地以外の 土地	計	
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計									
高松市	面積	針	553.53	67.10	620.63		72.74	62.83	135.57		756.20						
		広	258.51	9.20	267.71		76.20	278.56	354.76		622.47						
		計	812.04	76.30	888.34		148.94	341.39	490.33		1,378.67	14.51		45.33	59.84	1,438.51	
	材積	針	135,255	20,198	155,453		6,339	4,506	10,845		166,298					166,298	
		広	51,035	118	51,153		6,040	17,475	23,515		74,668					74,668	
		計	186,290	20,316	206,606		12,379	21,981	34,360		240,966					240,966	
	成長量	針	3,416.6	748.5	4,165.1		23.6	17.7	41.3		4,206.4					4,206.4	
		広	787.1	7.0	794.1		32.9	155.8	188.7		982.8					982.8	
		計	4,203.7	755.5	4,959.2		56.5	173.5	230.0		5,189.2					5,189.2	
丸亀市	面積	針						15.40	15.40	15.40							
		広						61.63	61.63	61.63							
		計						77.03	77.03	77.03				0.87	0.87	77.90	
	材積	針						1,402	1,402	1,402	1,402					1,402	
		広						5,609	5,609	5,609	5,609					5,609	
		計						7,011	7,011	7,011	7,011					7,011	
	成長量	針						1.4	1.4	1.4	1.4					1.4	
		広						5.6	5.6	5.6	5.6					5.6	
		計						7.0	7.0	7.0	7.0					7.0	
坂出市	面積	針						4.75	4.75	4.75							
		広						19.05	19.05	19.05							
		計						23.80	23.80	23.80	23.80			0.34	0.34	24.14	
	材積	針						475	475	475	475					475	
		広						1,905	1,905	1,905	1,905					1,905	
		計						2,380	2,380	2,380	2,380					2,380	
	成長量	針						0.4	0.4	0.4	0.4					0.4	
		広						1.9	1.9	1.9	1.9					1.9	
		計						2.3	2.3	2.3	2.3					2.3	
観音寺市	面積	針	1,069.45		1,069.45		6.67	6.67	1,076.12								
		広	18.14		18.14		14.97	14.97	33.11								
		計	1,087.59		1,087.59		21.64	21.64	1,109.23	9.16			67.97	77.13	1,186.36		
	材積	針	269,156		269,156		667	667	269,823						269,823		
		広	28,369		28,369		1,586	1,586	29,955						29,955		
		計	297,525		297,525		2,253	2,253	299,778						299,778		
	成長量	針	4,991.9		4,991.9		0.6	0.6	4,992.5						4,992.5		
		広	349.1		349.1		52.3	52.3	401.4						401.4		
		計	5,341.0		5,341.0		52.9	52.9	5,393.9						5,393.9		
さぬき市	面積	針	118.65		118.65		4.47	19.34	23.81	142.46							
		広	40.79		40.79		1.49	42.45	43.94	84.73							
		計	159.44		159.44		5.96	61.79	67.75	227.19				7.82	7.82	235.01	
	材積	針	23,176		23,176		45	1,003	1,048	24,224					24,224		
		広	13,813		13,813		15	1,541	1,556	15,369					15,369		
		計	36,989		36,989		60	2,544	2,604	39,593					39,593		
	成長量	針	467.3		467.3		0.3	1.7	2.0	469.3					469.3		
		広	169.5		169.5		0.1	10.5	10.6	180.1					180.1		
		計	636.8		636.8		0.4	12.2	12.6	649.4					649.4		

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 複層林は下層木のみを対象とする。

# 市町村別森林資源表

森林計画区：118 香川

(面積：h a, 材積：m<sup>3</sup>、成長量：m<sup>3</sup>/年)

市町村	区分	立木地							無立木地等					計			
		人工林			天然林				竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地		林地以外の 土地	計	
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計									
東かがわ市	面積	針	625.09		625.09	0.89	18.01	18.90		643.99							
		広	498.08		498.08	38.85	681.77	720.62		1,218.70							
		計	1,123.17		1,123.17	39.74	699.78	739.52		1,862.69				37.41	37.41	1,900.10	
	材積	針	158,986		158,986	98	2,700	2,700		161,686							161,686
		広	59,623		59,623	1,635	30,910	32,545		92,168							92,168
		計	218,609		218,609	1,733	33,512	35,245		253,854							253,854
	成長量	針	3,962.5		3,962.5	0.8	13.8	14.6		3,977.1							3,977.1
		広	822.1		822.1	13.0	328.1	341.1		1,163.2							1,163.2
		計	4,784.6		4,784.6	13.8	341.9	355.7		5,140.3							5,140.3
小豆島町	面積	針	54.21		54.21				54.21								
		広															
		計	54.21		54.21				54.21						3.94	3.94	58.15
	材積	針	5,420		5,420				5,420								5,420
		広	3,700		3,700				3,700								3,700
		計	9,120		9,120				9,120								9,120
	成長量	針	62.4		62.4				62.4								62.4
		広	29.6		29.6				29.6								29.6
		計	92.0		92.0				92.0								92.0
三木町	面積	針	67.17		67.17		11.42	11.42	78.59								
		広	22.46		22.46		3.82	3.82	26.28								
		計	89.63		89.63		15.24	15.24	104.87					1.11	1.11	105.98	
	材積	針	24,010		24,010		1,916	1,916	25,926								25,926
		広	2,707		2,707		627	627	3,334								3,334
		計	26,717		26,717		2,543	2,543	29,260								29,260
	成長量	針	478.4		478.4		12.0	12.0	490.4								490.4
		広	38.8		38.8		5.7	5.7	44.5								44.5
		計	517.2		517.2		17.7	17.7	534.9								534.9
綾川町	面積	針	178.98		178.98	60.60	162.27	222.87	401.85								
		広	33.53		33.53	20.77	152.66	173.43	206.96								
		計	212.51		212.51	81.37	314.93	396.30	608.81	3.78				16.10	19.88	628.69	
	材積	針	48,977		48,977	12,420	22,134	34,554	83,531								83,531
		広	9,090		9,090	3,287	19,502	22,789	31,879								31,879
		計	58,067		58,067	15,707	41,636	57,343	115,410								115,410
	成長量	針	1,290.7		1,290.7	91.1	128.9	220.0	1,510.7								1,510.7
		広	144.4		144.4	23.5	94.5	118.0	262.4								262.4
		計	1,435.1		1,435.1	114.6	223.4	338.0	1,773.1								1,773.1
まんのう町	面積	針	1,171.31		1,171.31	10.33	148.57	158.90	1,330.21								
		広	207.47		207.47	10.01	433.46	443.47	650.94								
		計	1,378.78		1,378.78	20.34	582.03	602.37	1,981.15	17.06				63.70	80.76	2,061.91	
	材積	針	293,714		293,714	2,037	19,733	21,770	315,484								315,484
		広	42,151		42,151	1,949	54,434	56,383	98,534								98,534
		計	335,865		335,865	3,986	74,167	78,153	414,018								414,018
	成長量	針	7,382.6		7,382.6	11.1	92.7	103.8	7,486.4								7,486.4
		広	615.3		615.3	10.6	312.6	323.2	938.5								938.5
		計	7,997.9		7,997.9	21.7	405.3	427.0	8,424.9								8,424.9

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

注2 複層林は下層木のみを対象とする。

# 市町村別森林資源表

森林計画区：118 香川

(面積：h a, 材積：m<sup>3</sup>、成長量：m<sup>3</sup>/年)

市町村	区分	立木地						無立木地等					計		
		人工林			天然林			竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植 予定地		林地以外の 土地	計
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林								
	面積	針													
		広													
		計													
	材積	針													
		広													
		計													
	成長量	針													
		広													
		計													
	面積	針													
		広													
		計													
	材積	針													
		広													
		計													
	成長量	針													
		広													
		計													
	面積	針													
		広													
		計													
	材積	針													
		広													
		計													
	成長量	針													
		広													
		計													
森林計画計	面積	針	3,838.39	67.10	3,905.49		149.03	449.26	598.29		4,503.78				
		広	1,078.98	9.20	1,088.18		147.32	1,688.37	1,835.69		2,923.87				
		計	4,917.37	76.30	4,993.67		296.35	2,137.63	2,433.98		7,427.65	44.51		244.59	289.10
	材積	針	958.694	20,198	978,892		20,939	54,438	75,377		1,054,269				1,054,269
		広	210,488	118	210,606		12,926	133,589	146,515		357,121				357,121
		計	1,169,182	20,316	1,189,498		33,865	188,027	221,892		1,411,390				1,411,390
	成長量	針	22,052.4	748.5	22,800.9		126.9	269.2	396.1		23,197.0				23,197.0
		広	2,955.9	7.0	2,962.9		80.1	967.0	1,047.1		4,010.0				4,010.0
		計	25,008.3	755.5	25,763.8		207.0	1,236.2	1,443.2		27,207.0				27,207.0

注1 人工林及び天然林で点生木のみ林分の面積については、本表の集計には含まれていない。  
 注2 複層林は下層木のみを対象とする。



## (4) 制限林の種類別面積

## 制限林の種類別面積

森林計画区：118 香川

(単位：ha)

区分	市町村										
	高松市	丸亀市	坂出市	観音寺市	さぬき市	東かがわ市					
保安林	水源かん養保安林	741.32			18.21	138.88	1,623.19				
	土砂流出防備保安林	541.75			2.81		161.37				
	土砂崩壊防備保安林										
	飛砂防備保安林										
	防風保安林										
	水害防備保安林										
	潮害防備保安林	7.90					24.64				
	干害防備保安林	(4.92)									
	防雪保安林										
	防霧保安林										
	なだれ防止保安林										
	落石防止保安林										
	防火保安林										
	魚つき保安林	(8.50)	50.18				(27.42)	60.01			
	航行目標保安林				0.06						
	保健保安林	(720.13)	43.70	77.90	(0.06)	24.08		(170.26)	13.39		
	風致保安林	(420.28)		(77.90)	(24.08)						
計	(1,153.83)	1,384.85	(77.90)	77.90	(24.14)	24.14	21.02	138.88	(197.68)	1,882.60	
保安施設地区											
砂防指定地											
国立公園	特別保護地区										
	第一種特別地域										
	第二種特別地域	(436.15)	1.60	(77.90)	(24.14)			(206.10)	0.59		
	第三種特別地域	(17.42)	0.01								
	計	(453.57)	1.61	(77.90)	(24.14)				(206.10)	0.59	
国定公園	特別保護地区										
	第一種特別地域										
	第二種特別地域										
	第三種特別地域										
	計										
都道府県立自然公園	第一種特別地域	(4.10)									
	第二種特別地域	(29.57)									
	第三種特別地域	(145.34)	0.95								
	計	(179.01)	0.95								
原生自然環境保全地域											
自然環境保全地域特別地区											
都道府県自然環境保全地域特別地区											
鳥獣保護区特別保護地区											
緑地保全地区											
風致地区											
特別母樹林											
史跡名勝天然記念物	(403.25)	2.26									
種の保存法による管理地区											
その他											
合計	(2,189.66)	1,389.67	(155.80)	77.90	(48.28)	24.14	21.02	138.88	(403.78)	1,883.19	

# 制限林の種類別面積

森林計画区：118 香川

(単位：ha)

区分	市町村				合計				
	三木町	綾川町	まんのう町	合計					
保安林	水源かん養保安林	104.87		608.37	2,026.66		5,261.50		
	土砂流出防備保安林			15.85			721.78		
	土砂崩壊防備保安林								
	飛砂防備保安林								
	防風保安林								
	水害防備保安林								
	潮害防備保安林							32.54	
	干害防備保安林					(4.92)			
	防雪保安林								
	防霧保安林								
	なだれ防止保安林								
	落石防止保安林								
	防火保安林								
	魚つき保安林					(35.92)		110.19	
	航行目標保安林							0.06	
	保健保安林		(250.46)	(4.20)		(1,145.11)		159.07	
風致保安林						(522.26)			
計	104.87	(250.46)	624.22	(4.20)	2,026.66	(1,708.21)	6,285.14		
保安施設地区									
砂防指定地									
国立公園	特別保護地区								
	第一種特別地域								
	第二種特別地域					(744.29)	2.19		
	第三種特別地域					(17.42)	0.01		
	地種区分未定地域								
計						(761.71)	2.20		
国定公園	特別保護地区								
	第一種特別地域								
	第二種特別地域								
	第三種特別地域								
	地種区分未定地域								
計									
都道府県立自然公園	第一種特別地域					(4.10)			
	第二種特別地域					(29.57)			
	第三種特別地域			(115.29)	3.75	(260.63)	4.70		
	地種区分未定地域								
計			(115.29)	3.75	(294.30)	4.70			
原生自然環境保全地域									
自然環境保全地域特別地区									
都道府県自然環境保全地域特別地区									
鳥獣保護区特別保護地区									
緑地保全地区									
風致地区									
特別母樹林									
史跡名勝天然記念物						(403.25)	2.26		
種の保存法による管理地区									
その他									
合計	104.87	(250.46)	624.22	(119.49)	2,030.41	(3,167.47)	6,294.30		

## (5) 樹種別材積表

単位 材積:1,000m<sup>3</sup>

林種／樹種	総数	スギ	ヒノキ	マツ (ヨウマツを含む)	クヌギ	その他 広葉樹
総数	5,548	384	1,562	1,673	203	1,726
人工林	2,608	384	1,562	631	13	18
天然林	2,940			1,042	190	1,708

## (6) 荒廃地等の面積

単位 面積:ha

区分		荒廃地	荒廃危険地
総数		5,087	7,906
市町 村 別 内 訳	小豆島町	446	1,352
	土庄町	176	427
	東かがわ市	539	798
	さぬき市	547	891
	高松市	901	1,146
	三木町	92	109
	直島町	58	84
	綾川町	228	288
	丸亀市	267	383
	坂出市	534	552
	善通寺市	135	153
	宇多津町	23	51
	琴平町	19	33
	多度津町	104	127
	まんのう町	373	585
	観音寺市	163	265
	三豊市	482	662

注:みどり整備課資料(平成29年度山地災害危険地区調査)による。

## (7) 森林の被害

単位 面積:ha

区 分	山林火災			松くい虫			その他森林病害虫			
	29	30	元	29	30	元	29	30	元	
総 数	1.83	1.94	1.48	10,74	10,67	10,74	4	3	191	
市 町 村 別 内 訳	土庄町	0.39	0.01		1,198	1,198	1,198	4	3	3
	小豆島町		0.12		943	943	943			188
	さぬき市		0.34	0.07	490	490	499			
	東かがわ市	0.04	0.01	0.01	1,002	1,002	1,002			
	高松市	0.38	0.17	0.44	1,643	1,573	1,643			
	三木町	0.03	0.63	0.80	478	478	478			
	直島町		0.15		147	147	147			
	綾川町	0.54	0.12	0.14	290	290	290			
	丸亀市	0.01	0.18		662	662	662			
	坂出市	0.07		0.02	323	323	323			
	善通寺市	0.03			246	246	246			
	宇多津町				18	18				
	琴平町				3	3	14			
	多度津町				54	54	54			
	まんのう町	0.05	0.09		1,881	1,881	1,881			
	観音寺市	0.02	0.12		429	429	429			
三豊市	0.27			933	933	933				

注:その他森林病害虫等とは病害、虫害(松くい虫を除く)、獣害、鳥害による被害である。

## (8) 防火線等の整備状況

該当なし

### 3 林業の動向

#### (1) 森林組合及び生産森林組合の現況

##### ア 構成

森林組合

単位 員数:人、金額:千円、面積:ha

市町別	組合名	組合員数	常勤役員数	出資金総数	組合員所有(又は組合経営)森林面積	備考
総数		7,527	0	396,872	35,551	
森 林 組 合	土庄町	土庄町森林組合	370	0	6,178	1,508
	小豆島町	小豆島町森林組合	384	0	2,223	1,767
	さぬき市	香川東部森林組合	2,989	0	183,081	10,725
	東かがわ市					
	高松市	塩江町森林組合	689	0	18,249	4,632
	三木町	香川東部森林組合	(2,989)	(0)	(183,081)	(10,725)
	直島町	—	—	—	—	—
	綾川町	香川西部森林組合	2,474	0	183,823	13,358
	丸亀市					
	坂出市					
	善通寺市					
	宇多津町					
	琴平町					
	多度津町	仲南町森林組合	365	0	2,954	2,497
	観音寺市	大野原町森林組合	256	0	364	1,064
	三豊市	香川西部森林組合	(2,474)	(0)	(183,823)	(13,358)

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料 ( )書きは重複をしているものである。

## 生産森林組合

単位 員数:人、金額:千円、面積:ha

市町別	組合名	組合員数	常勤役員数	出資金総額	組合員所有 (又は組合経営) 森林面積	備考
総数		1,653	0	48,526	1,130	
生産森林組合	高松市	亀水	332	0	10,560	155
		讃岐	11	0	0	267
		安原	309	0	1,545	99
		椈川	36	0	1	11
		貝ノ又	—	—	—	—
		鷹山	14	0	283	21
		上西	201	0	3,916	181
	丸亀市	栗熊東	284	0	1,971	35
	まんのう町	炭所西	290	0	23,200	300
	観音寺市	岡	151	0	6,800	26
三豊市	家の浦	25	0	250	35	

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料

貝ノ又生産森林組合は、生産森林組合調査未提出のため記載不能。

## イ 事業内容及び活動状況等

## 森林組合

単位 金額:千円

種別	指導関係	販売		購買		
		販売事業	林産事業	購買事業	養苗事業	
総数	19,570	25,163	15,923	27,093	0	
森林組合	土庄町森林組合	1,102	4,461	—	4,476	—
	小豆島町森林組合	260	—	—	181	—
	香川東部森林組合	8,782	12,048	—	15,203	—
	塩江町森林組合	1,645	4,845	—	2,452	—
	香川西部森林組合	6,376	2,754	15,923	4,245	—
	仲南町森林組合	1,305	1,055	—	393	—
	大野原町森林組合	100	—	—	143	—

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料

森林組合

単位 金額:千円

種 別	利 用		金 融			
	森林整備 事業	利用及び福 利厚生事業	期末貸付 残高	受取利息	手数料	
総 数	384,609	305,015	0	0	0	
森 林 組 合	土庄町森林組合	13,186	3,325	—	—	—
	小豆島町森林組合	181	—	—	—	—
	香川東部森林組合	215,235	196,314	—	—	—
	塩江町森林組合	37,418	1,453	—	—	—
	香川西部森林組合	61,770	103,854	—	—	—
	仲南町森林組合	55,488	—	—	—	—
	大野原町森林組合	1,331	69	—	—	—

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料

生産森林組合

単位 金額:千円

種 別	指導関係	販 売		購 買	
		販売事業	林産事業	購買事業	養苗事業
総 数	—	—	—	—	—

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料

生産森林組合

単位 金額:千円

種 別	利 用		金 融		
	森林整備 事業	利用及び福 利厚生事業	期末貸付 残高	受取利息	手数料
総 数	—	—	—	—	—

注:平成31年3月31日現在 みどり整備課資料

(2) 林業事業体等の現況

単位:事業体数

区 分	林業事業体	木材卸売業 (うち素材市売市場)	木材製造業	その他
総 数	21	1	44	—
市 町 村 内 訳				

注:2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)香川県の工業(平成29年)

(3) 林業労働力の概況

単位:人

区 分	合 計			
	男	女	計	
総 数	91	5	96	
内 訳	土庄町森林組合	6	0	6
	小豆島町森林組合	0	0	0
	香川東部森林組合	49	3	52
	塩江町森林組合	8	1	9
	香川西部森林組合	20	1	21
	仲南町森林組合	8	0	8
	大野原町森林組合	0	0	0

注:令和2年3月31日現在 みどり整備課資料

(4) 林業機械化の概況

単位:台

区 分	索道	集 材 機	モ ノ ケ ー ブル	リモコンウインチ	小型 運 材 車	トラク タ	フォー クリフト	クレ ーン	グラッ プル	掘 削 機 械	チ ェ ーン ソー	刈 払 機
総	5	25	3	5	53	10	22	26	15	26	437	268

区 分	植穴堀機	動 力 枝 打 機	樹 木 粉 砕機	グラッ プルソー	プロセッ サ	ハーベ スタ	フォワ ーダ	スイン グヤー ダ	そ の他	計
総	10	16	11	1	3	1	5	3	1	946

注:林業機械器具現況調査(平成31年3月31日現在)

(5) 作業路網等の整備の概況

ア 国有林林道開設の推移

単位 延長:km

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
林 道	0.220	0.240	0	0.260	0.332

(注)R2年度は見込量による。

イ 国有林林道の現況

単位 路線数:本、延長:km

区 分	路 線 数	延 長
林 道	20	40

(注)四国森林管理局林道現況表(令和2年3月31日現在)による。

ウ 国有林作業道開設の推移

単位 路線数:本、延長:km

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
路線数	1	4	2	6	2
延 長	1.623	4.342	2.034	13.385	4.535

(注)R2年度は見込量による。



エ 国有林森林作業道の現況 単位 延長:km

区 分	延 長
森林作業道	122.684

(注)四国森林管理局作業道台帳集計(令和2年3月31日現在)による。

#### 4 前期計画の実行状況

##### (1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積

単位 材積:m<sup>3</sup>、実行歩合:%

区分	伐 採 立 木 材 積								
	計 画			実 行			実 行 歩 合		
	主 伐	間 伐	総 数	主 伐	間 伐	総 数	主 伐	間 伐	総 数
総 数	58,500	92,400	150,900	33,115	26,066	59,181	57	28	39
針葉樹	54,800	92,400	147,200	32,912	25,897	58,809	60	28	40
広葉樹	3,700	—	3,700	203	169	372	5	—	10

(注)1 前計画の前半5ヶ年分に対応する計画量と実行量とする。

2 本計画の樹立年度の実行量については見込量とする。

##### (2) 間伐面積

単位 面積:ha、実行歩合:%

計 画	実 行	実行歩合
1450	229	16

(注) (1)の(注)に同じ。

##### (3) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積:ha、実行歩合:%

総 数			人 工 造 林			天 然 更 新		
計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
270	31.14	12	156	24.77	16	114	6.37	6

(注) (1)の(注)に同じ。

##### (4) 林道の開設及び拡張の数量

単位 延長:km、実行歩合:%

区 分	開 設 延 長			拡 張 箇 所 数		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
基幹路網	1.6	0.9	56	20	—	—
うち林業専用道	1.6	0.9	56	—	17	—

(注)1(1)の(注)に同じ。

2 基幹林道とは、広域の利用区域面積(おおむね1,000ha以上)を対象とする林道をいう。

(5)保安林の整備及び治山事業に関する計画

ア 保安林の種類別の面積

単位 面積:ha、実行歩合:%

種 類	指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
水源かん養	0	0	0	0	0.01	-
土砂流出防備	0	0	0	0	0.03	-
潮害防備	0	0	0	0	0	0
干害防備	0	0	0	0	0	0
魚つき	0	0	0	0	0	0
航行目標	0	0	0	0	0	0
保健	0	0	0	0	0.04	-
風致	0	0	0	0	0.03	-

(注)(1)の(注)に同じ。

イ 保安施設地区の面積

該当なし

ウ 治山事業の数量

単位 地区数:箇所、実行歩合:%

種 類	面 積		
	計 画	実 行	実行歩合
保全施設	7カ所	7カ所	100

(注)(1)の(注)に同じ。

5 林地の異動状況(森林計画の対象森林)

(1) 森林より森林以外への異動

単位 面積:ha

農用地	ゴルフ場等 レジャー施設用地	住宅, 別荘, 工場等 建物敷地及びその附帯地	採石採土地	その他	合計
—	—	—	—	10.90	10.90

(注)1 前計画の前半5ヶ年に対応する異動面積とする。

2 農用地は田、畑、樹園地とする。

(2) 森林以外より森林への異動

単位 面積:ha

原野	農用地	その他	合計
—	—	0.08	0.08

(注)前計画の前半5ヶ年に対応する異動面積とする。

## 6 森林資源の推移

### (1) 分期別伐採立木材積等

単位 面積：h a、材積1,000m<sup>3</sup>、延長：km

分 期		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
伐 採 立 木 材 積	総 数	総 数	212	205	202	193	197	205	205	182
		針 葉 樹	191	186	183	176	179	185	182	161
		広 葉 樹	21	18	19	18	18	20	23	21
	主 伐	総 数	105	92	95	88	92	102	113	105
		針 葉 樹	84	73	76	70	73	81	90	84
		広 葉 樹	21	18	19	18	18	20	23	21
	間 伐	総 数	107	113	107	105	106	103	92	77
		針 葉 樹	107	113	107	105	106	103	92	77
		広 葉 樹	0	0	0	0	0	0	0	0
造 林 面 積	総 数	207	248	270	264	224	230	202	212	
	人 工 造 林	166	198	216	211	179	184	162	170	
	天 然 更 新	41	50	54	53	45	46	40	42	
林道開設延長		2.15	1.75							

注 森林計画樹立の翌年度から5年間はI分期、次の5年間はII分期、以下同様とし、最終の分期をVIII分期とする。

I分期とII分期は調整があるので修正数字を入れた。  
端数の関係で計が合わない箇所は調整して合わせた。

## (2) 分期別期首別資源表

単位(面積:ha 材積:千m<sup>3</sup>)

区分		面											材積		
		総 数 齡 級	1・2 齡 級	3・4 齡 級	5・6 齡 級	7・8 齡 級	9・10 齡 級	11・12 齡 級	13・14 齡 級	15・16 齡 級	17・18 齡 級	19・20 齡 級		21齡級 以上	
第 I 分 期	総 数	7,476	86	45	270	530	758	1,627	1,785	789	363	244	978	1,405	
	人 工 林	総 数	5,042	84	40	261	443	727	1,424	1,363	252	140	181	127	1,183
		育成単層林	4,966	84	40	188	440	727	1,424	1,363	252	140	181	127	1,163
		育成複層林	76	0	0	73	3	0	0	0	0	0	0	0	20
	天 然 林	総 数	2,434	2	5	9	87	31	203	422	537	223	63	851	222
		育成複層林	296	0	3	1	0	0	0	90	46	5	11	142	34
		天然生林	2,138	2	1	8	87	31	203	333	491	218	53	710	188
	総 数														
第 III 分 期	総 数	7,278	551	36	45	270	530	738	1,435	1,330	769	350	1,223	1,567	
	人 工 林	総 数	4,844	551	34	40	261	443	707	1,233	908	232	128	308	1,330
		育成単層林	4,700	483	34	40	188	440	707	1,233	908	232	128	308	1,310
		育成複層林	144	68	0	0	73	3	0	0	0	0	0	0	20
	天 然 林	総 数	2,434	0	2	5	9	87	31	203	422	537	223	915	237
		育成複層林	296	0	0	3	1	0	0	0	90	46	5	152	36
		天然生林	2,138	0	2	1	8	87	31	203	333	491	218	762	201
	総 数	0													
第 V 分 期	総 数	7,278	646	455	36	45	270	510	608	1,225	1,210	739	1,533	1,551	
	人 工 林	総 数	4,844	646	455	34	40	261	423	577	1,023	788	202	396	1,301
		育成単層林	4,680	618	395	34	40	188	420	577	1,023	788	202	396	1,266
		育成複層林	164	28	60	0	0	73	3	0	0	0	0	0	35
	天 然 林	総 数	2,434	0	0	2	5	9	87	31	203	422	537	1,137	250
		育成複層林	296	0	0	0	3	1	0	0	0	90	46	157	38
		天然生林	2,138	0	0	2	1	8	87	31	203	333	491	980	212
	総 数	0													
第 VII 分 期	総 数	7,278	554	542	455	36	45	260	430	508	1,115	1,130	2,202	1,546	
	人 工 林	総 数	4,844	554	542	455	34	40	251	343	477	913	708	528	1,287
		育成単層林	4,680	554	514	395	34	40	178	340	477	913	708	528	1,244
		育成複層林	164	0	28	60	0	0	73	3	0	0	0	0	43
	天 然 林	総 数	2,434	0	0	0	2	5	9	87	31	203	422	1,674	259
		育成複層林	296	0	0	0	0	3	1	0	0	0	90	203	39
		天然生林	2,138	0	0	0	2	1	8	87	31	203	333	1,472	220
	総 数	7,278	510	454	542	455	36	45	240	390	428	995	3,182	1,544	
第 IX 分 期	人 工 林	総 数	4,844	510	454	542	455	34	40	231	303	397	793	1,085	1,280
		育成単層林	4,680	510	454	514	395	34	40	158	300	397	793	1,085	1,229
		育成複層林	164	0	0	28	60	0	0	73	3	0	0	0	51
	天 然 林	総 数	2,434	0	0	0	0	2	5	9	87	31	203	2,097	264
		育成複層林	296	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	292	40
		天然生林	2,138	0	0	0	0	2	1	8	87	31	203	1,804	224
		総 数	7,278	510	454	542	455	36	45	240	390	428	995	3,182	1,544

注：面積で総数と齡級の総和が四捨五入の関係で合わないことがあります。(推移表の面積は小数点以下2位で計算)